

5. 児童手当等の使途等

(1) 調査期間中に実際使用された使途

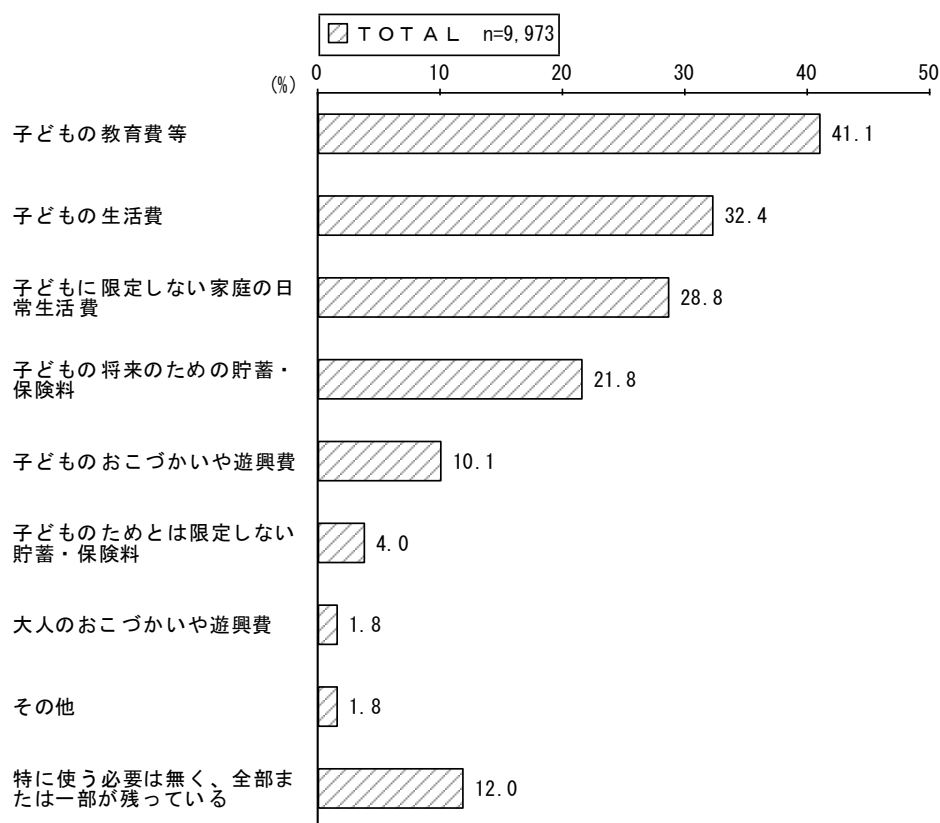
① 全体

調査期間中（10月の児童手当等の支給後から1月末日まで）に実際に使用された児童手当等の使途（複数回答）及び使途別の使用金額について、回答を得た。

使途について最も回答が多かったのは「子どもの教育費等」で41.1%、次いで、「子どもの生活費」（32.4%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」（28.8%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（21.8%）、「子どものおこづかいや遊興費」（10.1%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」（4.0%）、「大人のおこづかいや遊興費」（1.8%）と続いている。

一方で、「児童手当等」支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている（将来的に使う予定がある場合を含む）と回答した人は12.0%となっている。これは、1月末時点で10月に支給された「児童手当等」が1円でも残っている人の割合であり、全額が残っている人の割合ではないことに留意されたい。残額がある人については、今後の使用予定についても別途聞いている。（52ページ参照。）

図表Ⅱ-5-1 児童手当等の使途（複数回答）



次に、使途別の使用金額の状況についてみる。

本調査対象者(9,973人)への支給総額は3億3,980万3,000円となっている。支給総額の3億3,980万3,000円をサンプル数である9,973で除した額が平均支給額であり、34,072円となっている。使途別の使用金額の合計金額をサンプル数である9,973で除したものが使途別の平均金額となる

(※③全体欄)。

また、10月に児童手当の支給を受けた人(8,999人)のみを対象として、使途別の使用金額の合計金額をサンプル数である8,999人で除したものを、児童手当受給者全体の平均金額として記載している(平均金額 36,047円 ※①児童手当受給者全体欄)。

10月に特例給付の支給を受けた人(957人)のみを対象として、使途別の使用金額の合計金額をサンプル数である957人で除したものを、特例給付受給者全体の平均金額として記載している(平均金額 15,371円 ※②特例給付受給者全体欄)。

10月に児童手当の支給を受けた人(8,999人)の中で平均金額をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」で9,090円(25.2%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が8,118円(22.5%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」が7,077円(19.6%)、「子どもの生活費」が5,354円(14.9%)、「子どものおこづかいや遊興費」が1,096円(3.0%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」が982円(2.7%)、「大人のおこづかいや遊興費」が255円(0.7%)の順となっている。

一方で、児童手当を受けた人における「「児童手当」支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている(将来的に使う予定がある場合を含む)」の平均金額(残額の平均)は3,506円(9.7%)となっている。

図表Ⅱ-5-2 児童手当等の使途別金額（平均金額）

	回答者数 (人)	合計金額		① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者	
		金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
児童手当受給者全体:n=8,999 特例給付受給者全体:n=957 全体:n=9,973 児童手当満額受給者:n=6,292 特例給付満額受給者:n=592 全体の満額受給者:n=6,884															
子どもの生活費	3,228	49,759,764	5,354	14.9	1,420	9.2	4,989	14.6	6,195	14.0	1,701	8.5	5,809	13.8	
子どもの教育費等	4,101	87,005,348	9,090	25.2	5,208	33.9	8,724	25.6	10,743	24.3	6,576	32.9	10,385	24.6	
子どものおこづかいや遊興費	1,012	10,303,035	1,096	3.0	446	2.9	1,033	3.0	1,337	3.0	591	3.0	1,273	3.0	
大人のおこづかいや遊興費	177	2,339,350	255	0.7	50	0.3	235	0.7	307	0.7	44	0.2	285	0.7	
子どもに限定しない家庭の日常生活費	2,875	65,741,986	7,077	19.6	2,066	13.4	6,592	19.4	8,834	20.0	2,611	13.1	8,299	19.7	
子どもの将来のための貯蓄・保険料	2,171	76,146,451	8,118	22.5	3,183	20.7	7,635	22.4	10,771	24.3	4,602	23.0	10,241	24.3	
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	396	9,351,660	982	2.7	534	3.5	938	2.8	1,310	3.0	740	3.7	1,261	3.0	
その他	179	5,280,250	569	1.6	51	0.3	529	1.6	696	1.6	76	0.4	643	1.5	
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	1,192	33,875,156	3,506	9.7	2,414	15.7	3,397	10.0	4,071	9.2	3,059	15.3	3,984	9.5	
計	-	339,803,000	36,047	100.0	15,371	100.0	34,072	100.0	44,266	100.0	20,000	100.0	42,179	100.0	

② 長子学齢区分別

長子学齢区分別に児童手当等の使途をみると、長子の学齢が高くなるほど「子どもの教育費等」に使用している人が多くなる傾向がみられ、中学1～3年生は回答者の61.6%と6割を超えている。

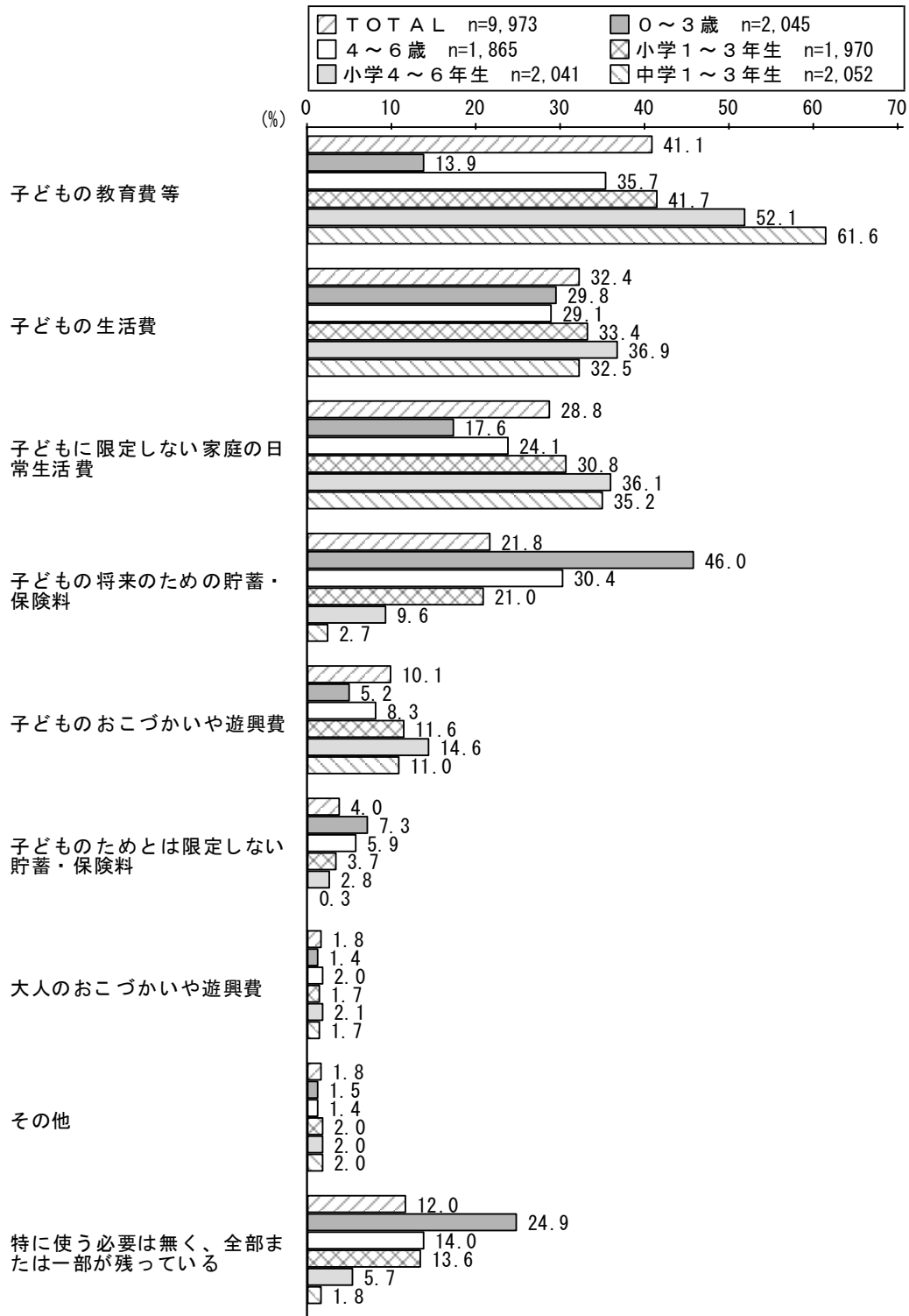
「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合は、長子学齢が低いほど高くなっている。0～3歳は46.0%で他の属性と比べ最も高く、中学1～3年生は2.7%と最も低い。0～3歳の方が中学1～3年生より43.3ポイント高くなっている。

「子どもの生活費」と「子どもに限定しない家庭の日常生活費」と「子どものおこづかいや遊興費」に関しては、小学4～6年生が他の学齢より高くなっている。

「大人のおこづかいや遊興費」は、いずれの学齢においても2%程度と極めて低い割合となっている。

「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」の割合は、いずれの学齢も1割未満であるが、長子学齢が低いほど高くなっている。

図表Ⅱ-5-3 長子学齢区分別の児童手当等の使途（複数回答）



次に使用金額（児童手当受給者ベースの平均、図表Ⅱ-5-4）についてみると、「子どもの教育費等」については、長子の学齢が高くなるほど使用金額が高くなっており、最も使用金額が高い中学1～3年生は14,985円に対して、最も使用金額が低い0～3歳は3,655円で、その差は11,330円である。一方、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」については、長子の学齢が高くなるほど使用金額が低くなっており、最も使用金額が高い0～3歳は20,945円に対して、最も使用金額が低い中学1～3年生は527円で、その差は20,418円である。

また、「児童手当」の支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている（将来的に使う予定がある場合を含む）については、長子の学齢が高くなるほど額（未使用金額）が低くなっており、最も高い0～3歳は8,756円に対して、最も低い中学1～3年生は269円で、その差は8,487円である。

図表Ⅱ-5-4 長子学齢区分別の児童手当等の使途別金額（平均金額_児童手当受給者全体）

児童手当受給者全体 n=8,999 0～3歳:n=1,905 4～6歳:n=1,723 小学1～3年生:n=1,781 小学4～6年生:n=1,806 中学1～3年生:n=1,784	T O T A L		0 ～ 3 歳		4 ～ 6 歳		小学 1 ～ 3 年 生		小学 4 ～ 6 年 生		中学 1 ～ 3 年 生		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの生活費	3,069	5,354	14.9	7,213	14.4	4,264	12.8	4,850	14.9	5,425	17.1	4,855	15.5
子どもの教育費等	3,712	9,090	25.2	3,655	7.3	7,873	23.6	8,068	24.9	11,168	35.3	14,985	47.7
子どものおこづかいや遊興費	958	1,096	3.0	701	1.4	831	2.5	1,273	3.9	1,467	4.6	1,221	3.9
大人のおこづかいや遊興費	168	255	0.7	318	0.6	283	0.9	162	0.5	256	0.8	251	0.8
子どもに限定しない家庭の日常生活費	2,708	7,077	19.6	5,816	11.6	5,501	16.5	7,075	21.8	8,438	26.6	8,572	27.3
子どもの将来のための貯蓄・保険料	1,973	8,118	22.5	20,945	41.7	9,453	28.3	6,391	19.7	2,513	7.9	527	1.7
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	352	982	2.7	2,249	4.5	1,250	3.7	833	2.6	473	1.5	36	0.1
その他	172	569	1.6	618	1.2	427	1.3	553	1.7	542	1.7	697	2.2
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	1,031	3,506	9.7	8,756	17.4	3,531	10.6	3,248	10.0	1,396	4.4	269	0.9
計	-	36,047	100.0	50,270	100.0	33,413	100.0	32,454	100.0	31,678	100.0	31,413	100.0

次に使用金額（特例給付受給者ベースの平均、図表Ⅱ-5-5）についてみると、「子どもの教育費等」については、長子の学齢が高くなるほど使用金額が高くなっており、最も使用金額が高い中学1～3年生は8,004円に対して、最も使用金額が低い0～3歳は1,081円で、その差は6,923円である。一方、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」については、長子の学齢が高くなるほど使用金額が低くなっており、最も使用金額が高い0～3歳は5,127円に対して、最も使用金額が低い中学1～3年生は955円で、その差は4,172円である。

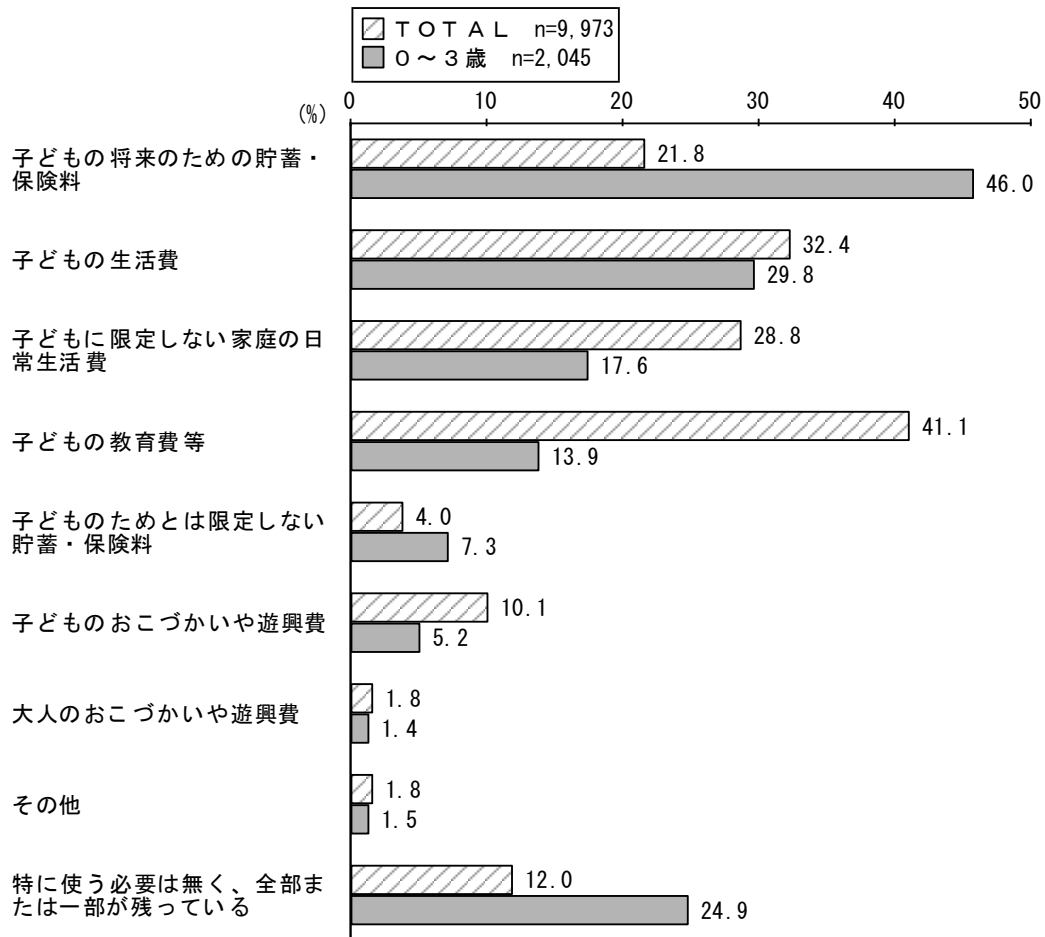
また、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」について、長子の学齢が高くなるほど使用金額が高くなっており、最も使用金額が高い中学1～3年生は3,345円に対して、最も使用金額が低い0～3歳は708円で、その差は2,637円である。

図表Ⅱ-5-5 長子学齢区分別の児童手当等の使途別金額（平均金額_特例給付受給者全体）

特例給付受給者 n=957 0～3歳:n=130 4～6歳:n=141 小学1～3年生:n=188 小学4～6年生:n=231 中学1～3年生:n=267	TOTAL		0～3歳		4～6歳		小学1～3年生		小学4～6年生		中学1～3年生		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの生活費	151	1,420	9.2	3,069	20.5	1,325	8.3	819	5.3	1,487	9.6	1,031	6.9
子どもの教育費等	380	5,208	33.9	1,081	7.2	3,618	22.6	4,261	27.5	6,039	38.9	8,004	53.4
子どものおこづかいや遊興費	51	446	2.9	169	1.1	106	0.7	88	0.6	740	4.8	757	5.1
大人のおこづかいや遊興費	9	50	0.3	0	0.0	64	0.4	37	0.2	0	0.0	121	0.8
子どもに限定しない家庭の日常生活費	161	2,066	13.4	708	4.7	1,106	6.9	1,582	10.2	2,329	15.0	3,345	22.3
子どもの将来のための貯蓄・保険料	197	3,183	20.7	5,127	34.3	5,121	32.0	4,277	27.6	2,591	16.7	955	6.4
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	44	534	3.5	308	2.1	894	5.6	553	3.6	913	5.9	112	0.8
その他	5	51	0.3	0	0.0	142	0.9	32	0.2	100	0.6	0	0.0
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	160	2,414	15.7	4,500	30.1	3,653	22.8	3,856	24.9	1,342	8.6	655	4.4
計	-	15,371	100.0	14,962	100.0	16,028	100.0	15,505	100.0	15,541	100.0	14,981	100.0

長子学齢区分0～3歳の使途についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が46.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(29.8%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(17.6%)、「子どもの教育費等」(13.9%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(7.3%)、「子どものおこづかいや遊興費」(5.2%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.4%)と続いている。

図表Ⅱ-5-6 長子学齢区分別の児童手当等の使途0～3歳（複数回答）



用途別の使用金額（長子学齢0～3歳の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が20,945円（41.7%）、次いで、「子どもの生活費」7,213円（14.4%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」5,816円（11.6%）という順になっている。

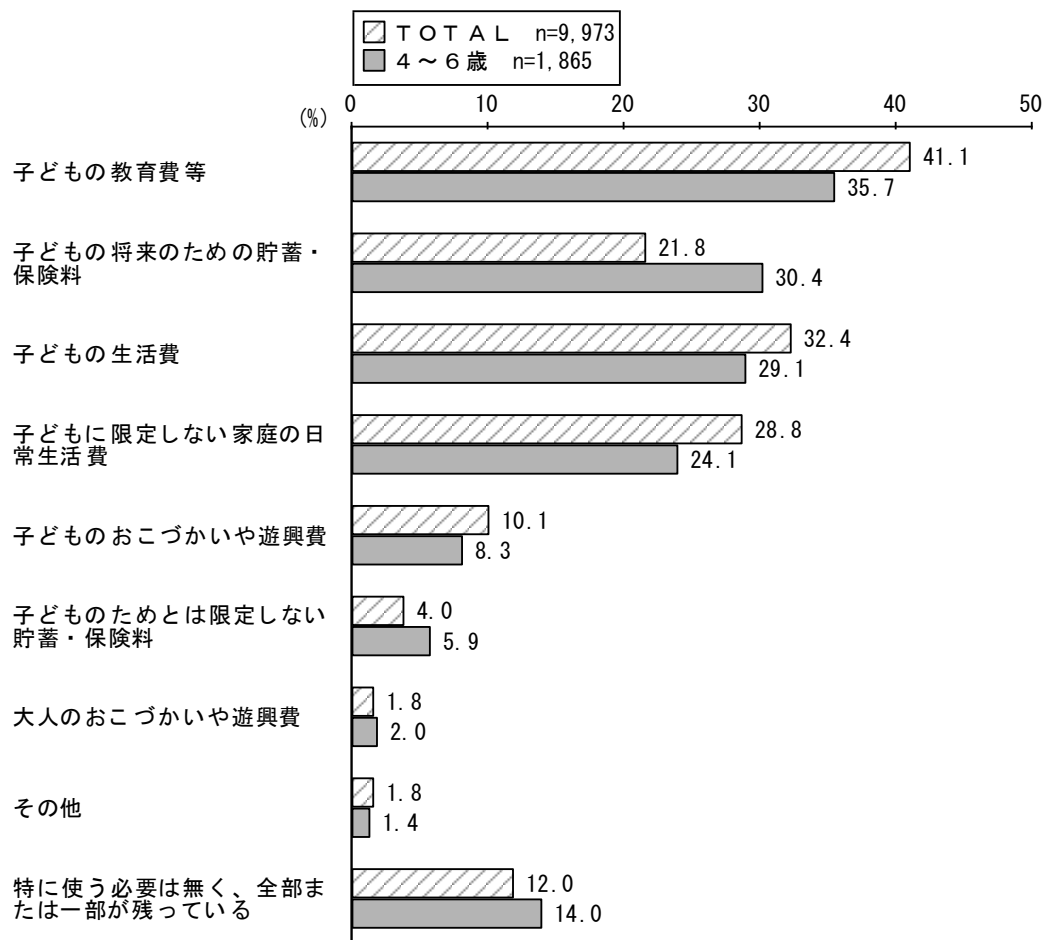
用途別の使用金額（長子学齢0～3歳の②特例給付受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が5,127円（34.3%）、次いで、「子どもの生活費」3,069円（20.5%）、「子どもの教育費等」1,081円（7.2%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-7 長子学齢区別の児童手当等の用途別金額0～3歳（平均金額）

長子学齢区分_0～3歳 n=2,045	① 児童手当受給者全体			② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者	
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの将来のための貯蓄・保険料	940	20,945	41.7	5,127	34.3	19,862	41.4	25,722	43.6	7,992	40.0	24,943	43.6
子どもの生活費	609	7,213	14.4	3,069	20.5	6,969	14.5	7,942	13.5	4,323	21.6	7,783	13.6
子どもに限定しない家庭の日常生活費	360	5,816	11.6	708	4.7	5,490	11.4	7,043	11.9	615	3.1	6,760	11.8
子どもの教育費等	285	3,655	7.3	1,081	7.2	3,553	7.4	4,014	6.8	931	4.7	3,878	6.8
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	150	2,249	4.5	308	2.1	2,115	4.4	2,857	4.8	262	1.3	2,743	4.8
子どものおこづかいや遊興費	106	701	1.4	169	1.1	666	1.4	839	1.4	338	1.7	817	1.4
大人のおこづかいや遊興費	29	318	0.6	0	0.0	296	0.6	370	0.6	0	0.0	354	0.6
その他	30	618	1.2	0	0.0	600	1.3	709	1.2	0	0.0	677	1.2
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	510	8,756	17.4	4,500	30.1	8,450	17.6	9,487	16.1	5,538	27.7	9,313	16.3
計	-	50,270	100.0	14,962	100.0	48,000	100.0	58,982	100.0	20,000	100.0	57,268	100.0

長子学齢区分4～6歳の使途についてみると、「子どもの教育費等」が35.7%で最も高い。次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(30.4%)、「子どもの生活費」(29.1%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(24.1%)、「子どものおこづかいや遊興費」(8.3%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(5.9%)、「大人のおこづかいや遊興費」(2.0%)と続いている。

図表Ⅱ-5-8 長子学齢区分別の児童手当等の使途4～6歳（複数回答）



使途別の使用金額（長子学齢4～6歳の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が9,453円（28.3%）、次いで、「子どもの教育費等」7,873円（23.6%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」5,501円（16.5%）という順になっている。

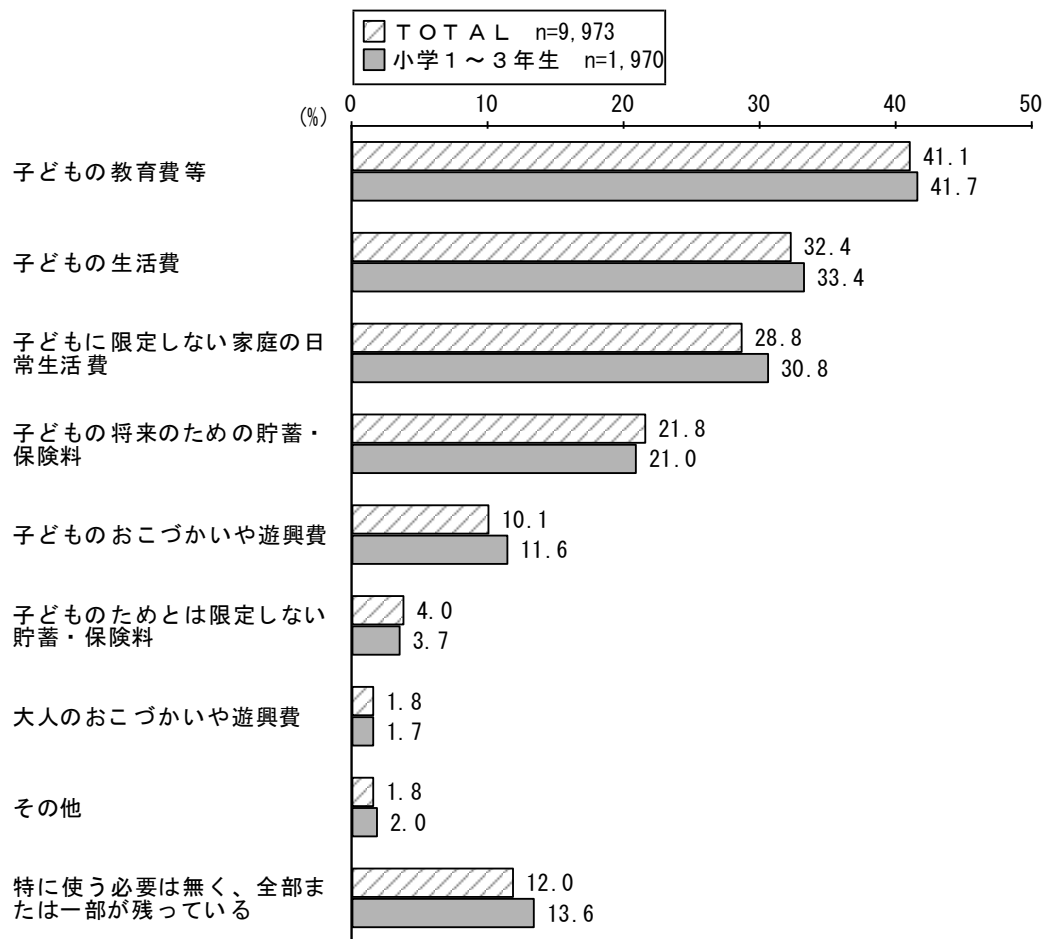
使途別の使用金額（長子学齢4～6歳の②特例給付受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が5,121円（32.0%）、次いで、「子どもの教育費等」3,618円（22.6%）、「子どもの生活費」1,325円（8.3%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-9 長子学齢区別の児童手当等の使途別金額4～6歳（平均金額）

長子学齢区分_4～6歳 n=1,865	① 児童手当受給者全体			② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者	
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの教育費等	665	7,873	23.6	3,618	22.6	7,547	23.5	9,231	23.1	3,938	19.7	8,850	23.0
子どもの将来のための貯蓄・保険料	567	9,453	28.3	5,121	32.0	9,121	28.4	12,334	30.8	6,735	33.7	11,930	30.9
子どもの生活費	542	4,264	12.8	1,325	8.3	4,072	12.7	4,678	11.7	1,673	8.4	4,462	11.6
子どもに限定しない家庭の日常生活費	449	5,501	16.5	1,106	6.9	5,165	16.1	6,418	16.1	1,388	6.9	6,056	15.7
子どものおこづかいや遊興費	154	831	2.5	106	0.7	776	2.4	1,010	2.5	41	0.2	940	2.4
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	110	1,250	3.7	894	5.6	1,222	3.8	1,552	3.9	1,082	5.4	1,518	3.9
大人のおこづかいや遊興費	38	283	0.9	64	0.4	266	0.8	317	0.8	41	0.2	297	0.8
その他	27	427	1.3	142	0.9	405	1.3	471	1.2	204	1.0	452	1.2
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	262	3,531	10.6	3,653	22.8	3,539	11.0	3,988	10.0	4,899	24.5	4,054	10.5
計	-	33,413	100.0	16,028	100.0	32,113	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	38,560	100.0

長子学齢区分小学1～3年生の使途についてみると、「子どもの教育費等」が41.7%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(33.4%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(30.8%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(21.0%)、「子どものおこづかいや遊興費」(11.6%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.7%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.7%)と続いている。

図表Ⅱ-5-10 長子学齢区分別の児童手当等の使途小学1～3年生(複数回答)



用途別の使用金額（長子学齢小学1～3年生の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」8,068円（24.9%）、次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」7,075円（21.8%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」6,391円（19.7%）、「子どもの生活費」4,850円（14.9%）という順になっている。

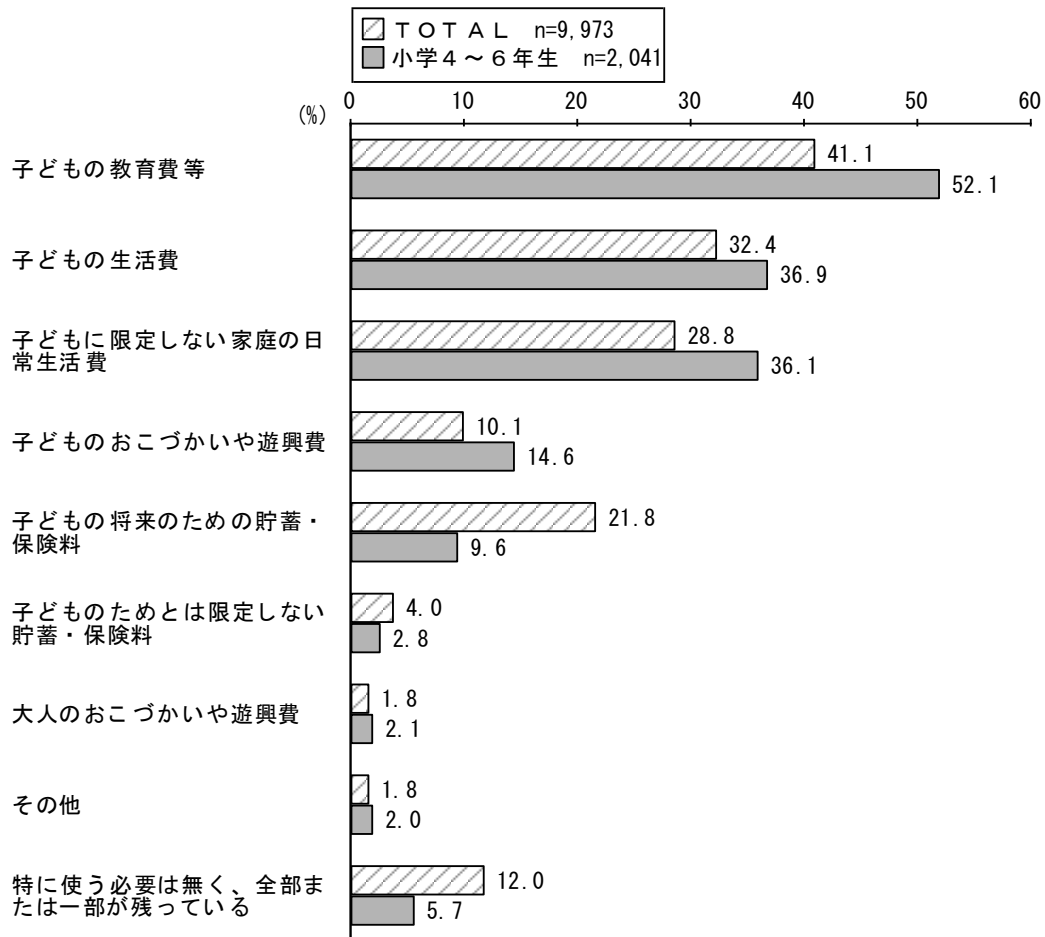
用途別の使用金額（長子学齢小学1～3年生の②特例給付受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」4,277円（27.6%）、次いで、「子どもの教育費等」4,261円（27.5%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」1,582円（10.2%）、「子どもの生活費」819円（5.3%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-11 長子学齢区分別の児童手当等の用途別金額小学1～3年生（平均金額）

長子学齢区分_小学1～3年生 n=1,970	①児童手当受給者全体		②特例給付受給者全体		③全体		④児童手当満額受給者		⑤特例給付満額受給者		⑥全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの教育費等	822	8,068	24.9	4,261	27.5	7,700	25.0	9,362	23.4	5,374	26.9	9,001	23.6
子どもの生活費	658	4,850	14.9	819	5.3	4,466	14.5	5,718	14.3	976	4.9	5,289	13.9
子どもに限定しない家庭の日常生活費	607	7,075	21.8	1,582	10.2	6,552	21.3	8,733	21.8	1,764	8.8	8,103	21.2
子どもの将来のための貯蓄・保険料	414	6,391	19.7	4,277	27.6	6,186	20.1	8,740	21.9	6,146	30.7	8,505	22.3
子どものおこづかいや遊興費	228	1,273	3.9	88	0.6	1,160	3.8	1,551	3.9	130	0.7	1,423	3.7
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	72	833	2.6	553	3.6	806	2.6	1,114	2.8	764	3.8	1,083	2.8
大人のおこづかいや遊興費	34	162	0.5	37	0.2	150	0.5	182	0.5	0	0.0	166	0.4
その他	39	553	1.7	32	0.2	503	1.6	685	1.7	41	0.2	626	1.6
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	267	3,248	10.0	3,856	24.9	3,305	10.7	3,915	9.8	4,805	24.0	3,995	10.5
計	-	32,454	100.0	15,505	100.0	30,827	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	38,191	100.0

長子学齢区分小学4～6年生の使途についてみると、「子どもの教育費等」が52.1%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(36.9%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(36.1%)、「子どものおこづかいや遊興費」(14.6%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(9.6%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(2.8%)、「大人のおこづかいや遊興費」(2.1%)と続いている。

図表Ⅱ-5-12 長子学齢区分別の児童手当等の使途小学4～6年生（複数回答）



用途別の使用金額（長子学齢小学4～6年生の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」11,168円（35.3%）、次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」8,438円（26.6%）、「子どもの生活費」が5,425円（17.1%）という順になっている。

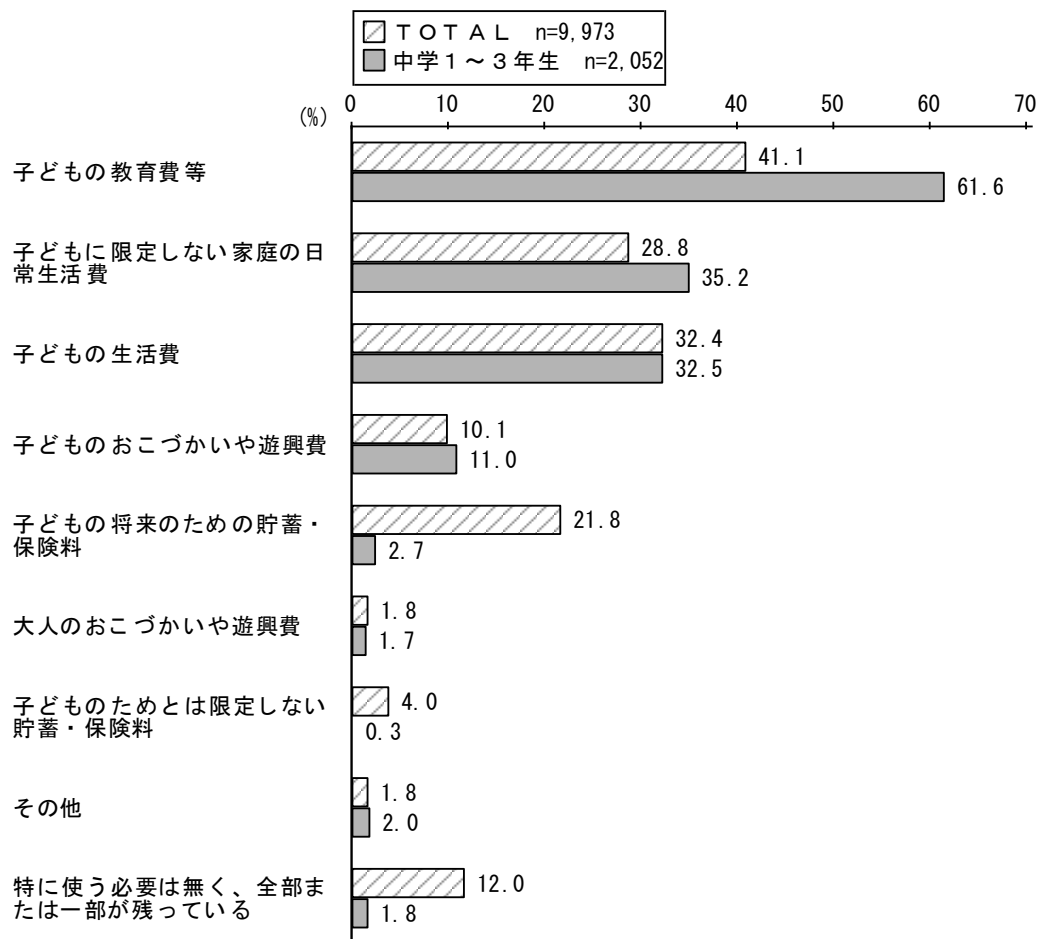
用途別の使用金額（長子学齢小学4～6年生の②特例給付受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」6,039円（38.9%）、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が2,591円（16.7%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」2,329円（15.0%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-13 長子学齢区分別の児童手当等の用途別金額小学4～6年生（平均金額）

長子学齢区分_小学4～6年生 n=2,041	①児童手当受給者全体		②特例給付受給者全体		③全体		④児童手当満額受給者		⑤特例給付満額受給者		⑥全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの教育費等	1,064	11,168	35.3	6,039	38.9	10,581	35.5	13,817	34.5	7,613	38.1	13,140	34.8
子どもの生活費	753	5,425	17.1	1,487	9.6	4,968	16.7	6,431	16.1	1,795	9.0	5,926	15.7
子どもに限定しない家庭の日常生活費	737	8,438	26.6	2,329	15.0	7,736	25.9	10,969	27.4	2,664	13.3	10,063	26.6
子どものおこづかいや遊興費	298	1,467	4.6	740	4.8	1,381	4.6	1,842	4.6	877	4.4	1,736	4.6
子どもの将来のための貯蓄・保険料	195	2,513	7.9	2,591	16.7	2,517	8.4	3,557	8.9	3,826	19.1	3,586	9.5
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	57	473	1.5	913	5.9	522	1.8	680	1.7	1,308	6.5	748	2.0
大人のおこづかいや遊興費	42	256	0.8	0	0.0	227	0.8	301	0.8	0	0.0	268	0.7
その他	41	542	1.7	100	0.6	520	1.7	682	1.7	137	0.7	623	1.7
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	116	1,396	4.4	1,342	8.6	1,387	4.7	1,721	4.3	1,780	8.9	1,728	4.6
計	-	31,678	100.0	15,541	100.0	29,840	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	37,819	100.0

長子学齢区分中学1～3年生の使途についてみると、「子どもの教育費等」が61.6%で最も高い。次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(35.2%)、「子どもの生活費」(32.5%)、「子どものおこづかいや遊興費」(11.0%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(2.7%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.7%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(0.3%)と続いている。

図表Ⅱ-5-14 長子学齢区分別の児童手当等の使途(中学1～3年生(複数回答))



用途別の使用金額（長子学齢中学1～3年生の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」14,985円（47.7%）、次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」8,572円（27.3%）、「子どもの生活費」が4,855円（15.5%）という順になっている。

用途別の使用金額（長子学齢中学1～3年生の②特例給付受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」8,004円（53.4%）、次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」3,345円（22.3%）、「子どもの生活費」が1,031円（6.9%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-15 長子学齢区分別の児童手当等の用途別金額中学1～3年生（平均金額）

長子学齢区分_中学1～3年生 n=2,052	①児童手当受給者全体		②特例給付受給者全体		③全体		④児童手当満額受給者		⑤特例給付満額受給者		⑥全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの教育費等	1,265	14,985	47.7	8,004	53.4	14,084	48.1	18,733	46.8	10,463	52.3	17,749	47.2
子どもに限定しない家庭の日常生活費	722	8,572	27.3	3,345	22.3	7,888	26.9	11,500	28.8	4,775	23.9	10,700	28.4
子どもの生活費	666	4,855	15.5	1,031	6.9	4,374	14.9	5,988	15.0	1,125	5.6	5,410	14.4
子どものおこづかいや遊興費	226	1,221	3.9	757	5.1	1,165	4.0	1,549	3.9	1,125	5.6	1,499	4.0
子どもの将来のための貯蓄・保険料	55	527	1.7	955	6.4	583	2.0	649	1.6	1,438	7.2	743	2.0
大人のおこづかいや遊興費	34	251	0.8	121	0.8	234	0.8	359	0.9	138	0.7	333	0.9
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	7	36	0.1	112	0.8	46	0.2	46	0.1	188	0.9	63	0.2
その他	42	697	2.2	0	0.0	606	2.1	949	2.4	0	0.0	836	2.2
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	37	269	0.9	655	4.4	319	1.1	226	0.6	750	3.8	288	0.8
計		31,413	100.0	14,981	100.0	29,298	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	37,621	100.0

③ 世帯年収階級別

世帯年収階級別に児童手当等の用途をみると、世帯年収が低いほど「子どもの生活費」や「子どもに限定しない家庭の日常生活費」といった“生活費”の使用割合が高くなる傾向がみられる。

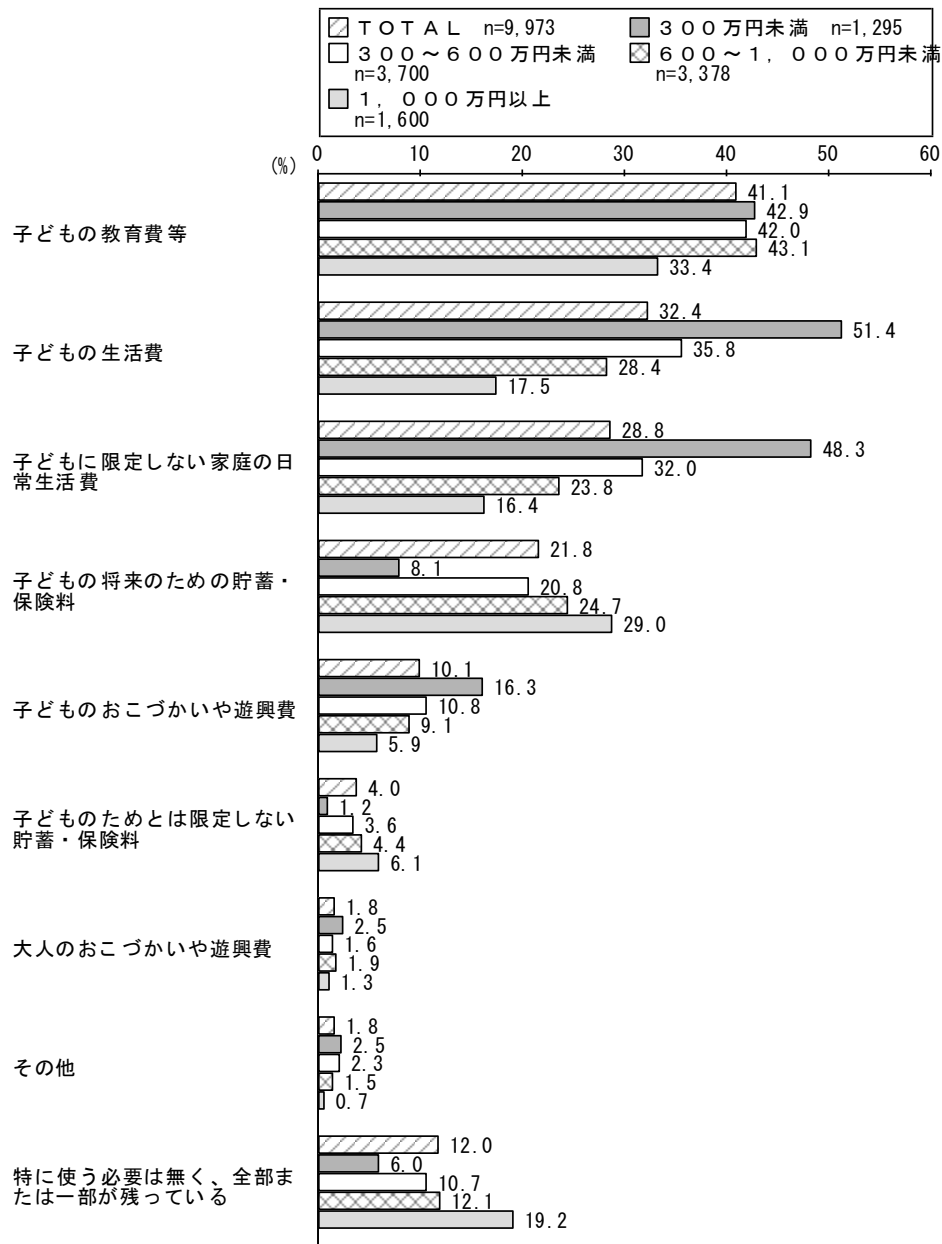
「子どもの生活費」については、300万円未満が最も高く51.4%であるのに対して、1,000万円以上では最も低く17.5%であり、その差は33.9ポイントである。「子どもに限定しない家庭の日常生活費」についても、300万円未満が48.3%と最も高く、1,000万円以上が16.4%で、その差は31.9ポイントである。また、「子どものおこづかいや遊興費」も世帯年収が低いほど回答割合が高い傾向がみられる。

「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合は、1,000万円以上が最も高く29.0%に対して、300万円未満が最も低く8.1%で、その差は20.9ポイントである。

「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」の割合は、世帯年収が高いほど高く、最も高い1,000万円以上で6.1%である。

「児童手当等」支給から回答時点までに特に使う必要がなかったため、全部又は一部が残っている（将来的に使う予定がある場合を含む）については、世帯年収が高いほど回答割合も高い傾向となっている。

図表Ⅱ-5-16 世帯年収階級別の児童手当等の使途（複数回答）



世帯年収階級別に児童手当等の用途別使用金額（児童手当受給者ベースの平均、図表Ⅱ-5-17）をみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は、世帯年収が高くなるほど、使用金額が高くなっているのに対して、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」と「子どもの生活費」と「子どものおこづかいや遊興費」は、世帯年収が低くなるほど使用金額が高くなっている。「子どもの将来のための貯蓄・保険料」では、最も使用金額が高い1,000万円以上は11,138円に対して、最も使用金額が低い300万円未満は2,942円で、その差は8,196円である。

「子どもに限定しない家庭の日常生活費」では、最も使用金額が高い300万円未満は11,192円に対して、最も使用金額が低い1,000万円以上は3,817円で、その差は7,375円である。「子どもの生活費」では、最も使用金額が高い300万円未満は8,217円に対して、最も使用金額が低い1,000万円以上は3,886円で、その差は4,331円である。

また、「特に使う必要は無く、全部または一部が残っている」について、世帯年収が高くなるほど金額が高くなっており、最も金額が高い1,000万円以上は5,971円に対して、最も金額が低い300万円未満は1,807円で、その差は4,164円である。

図表Ⅱ-5-17 世帯年収階級別の児童手当等の用途別金額（平均金額_児童手当受給者全体）

	T O T A L	300万円未満		300～600万円未満		600～1,000万円未満		1,000万円以上		1,000万円以上	
		金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
児童手当受給者全体 n=8,999 300万円未満:n=1,289 300～600万円未満:n=3,697 600～1,000万円未満:n=3,168 1,000万円以上:n=845											
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの生活費	3,069	5,354	14.9	8,217	23.6	5,542	15.2	4,363	12.0	3,886	11.2
子どもの教育費等	3,712	9,090	25.2	8,156	23.4	9,210	25.3	9,829	27.0	7,213	20.7
子どものおこづかいや遊興費	958	1,096	3.0	1,393	4.0	1,135	3.1	1,026	2.8	733	2.1
大人のおこづかいや遊興費	168	255	0.7	298	0.9	255	0.7	219	0.6	322	0.9
子どもに限定しない家庭の日常生活費	2,708	7,077	19.6	11,192	32.1	7,602	20.9	5,660	15.6	3,817	11.0
子どもの将来のための貯蓄・保険料	1,973	8,118	22.5	2,942	8.4	7,853	21.6	9,726	26.7	11,138	32.0
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	352	982	2.7	234	0.7	955	2.6	1,184	3.3	1,488	4.3
その他	172	569	1.6	616	1.8	659	1.8	524	1.4	272	0.8
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	1,031	3,506	9.7	1,807	5.2	3,228	8.9	3,864	10.6	5,971	17.1
計	-	36,047	100.0	34,856	100.0	36,439	100.0	36,395	100.0	34,840	100.0

世帯年収階級別に児童手当等の用途別使用金額（特例給付受給者ベースの平均、図表Ⅱ-5-18）をみると、「子どもの生活費」や「子どもの教育費等」等は、600～1,000万円未満が1,000万円より使用金額が高い。「子どもの教育費等」では、600～1,000万円未満は使用金額が6,423円に対して、1,000万円以上は4,876円である。

「子どもの将来のための貯蓄・保険料」では、1,000万円以上は使用金額が3,805円に対して、600～1,000円未満は902円である。

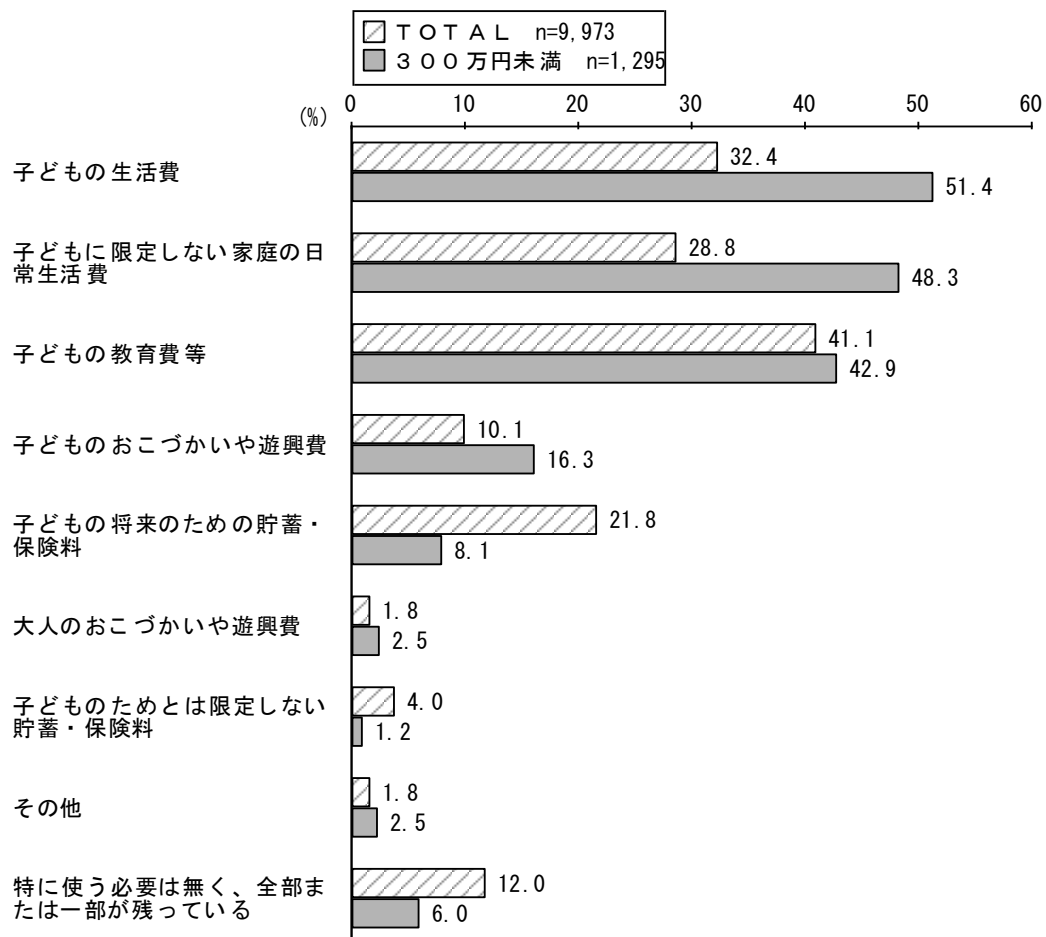
また、「特に使う必要は無く、全部または一部が残っている」について、1000万円以上のほうが600～1,000万円未満より金額が高くなっており、1,000万円以上は2,520円に対して、600～1,000万円未満は2,024円である。

図表Ⅱ-5-18 世帯年収階級別の児童手当等の用途別金額（平均金額_特例給付受給者全体）

	T O T A L	300万円未満		600万円未満		1,000万円未満		1,000万円以上			
		金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)		
特例給付受給者 n=957 300万円未満:n=0 300～600万円未満:n=0 600～1,000万円未満:n=205 1,000万円以上:n=752											
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの生活費	151	1,420	9.2	0	0.0	0	0.0	2,026	14.3	1,255	8.0
子どもの教育費等	380	5,208	33.9	0	0.0	0	0.0	6,423	45.2	4,876	31.1
子どものおこづかいや遊興費	51	446	2.9	0	0.0	0	0.0	507	3.6	429	2.7
大人のおこづかいや遊興費	9	50	0.3	0	0.0	0	0.0	20	0.1	59	0.4
子どもに限定しない家庭の日常生活費	161	2,066	13.4	0	0.0	0	0.0	2,010	14.1	2,081	13.3
子どもの将来のための貯蓄・保険料	197	3,183	20.7	0	0.0	0	0.0	902	6.4	3,805	24.3
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	44	534	3.5	0	0.0	0	0.0	195	1.4	626	4.0
その他	5	51	0.3	0	0.0	0	0.0	112	0.8	35	0.2
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	160	2,414	15.7	0	0.0	0	0.0	2,024	14.2	2,520	16.1
計	-	15,371	100.0	0	0.0	0	0.0	14,220	100.0	15,685	100.0

世帯年収階級 300 万円未満の使途についてみると、「子どもの生活費」が 51.4%で最も高い。次いで、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(48.3%)、「子どもの教育費等」(42.9%)、「子どものおこづかいや遊興費」(16.3%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(8.1%)、「大人のおこづかいや遊興費」(2.5%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(1.2%)と続いている。

図表Ⅱ-5-19 世帯年収階級別の児童手当等の使途 300 万円未満（複数回答）



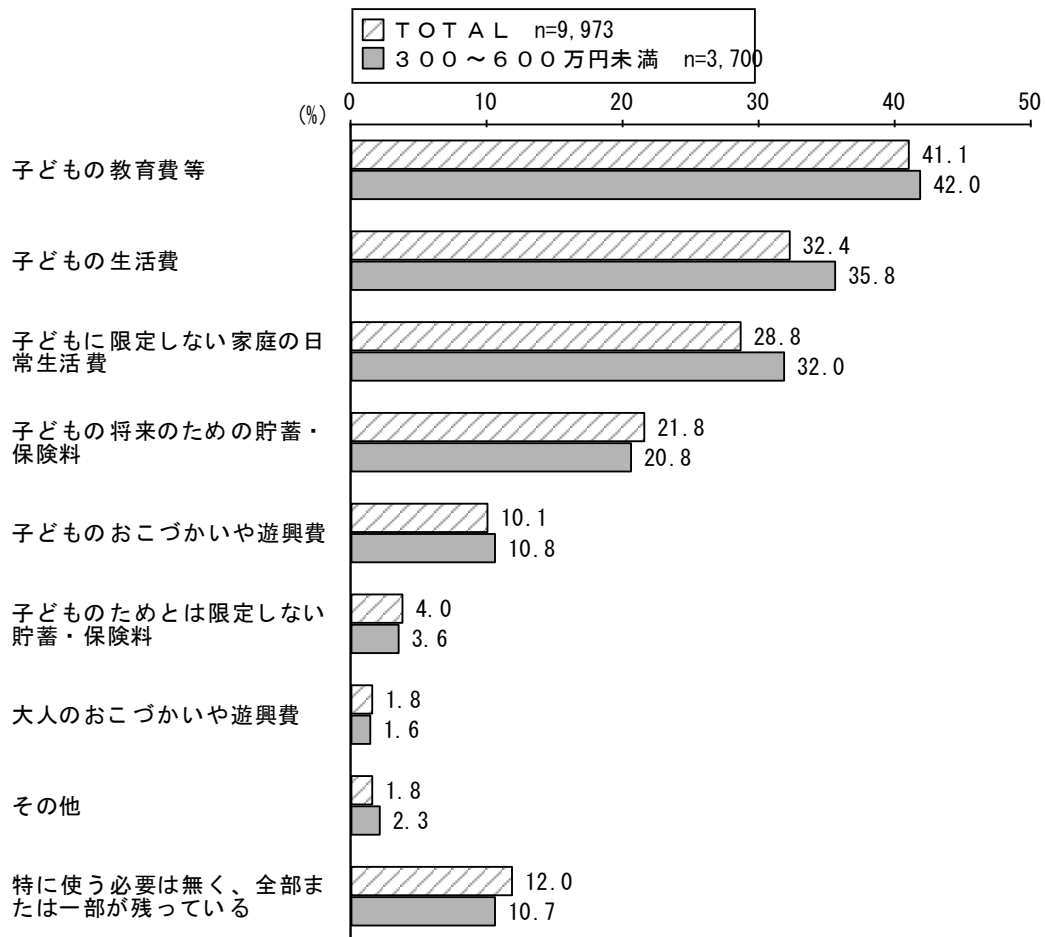
用途別の使用金額（世帯年収階級 300 万円未満の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもに限定しない家庭の日常生活費」11,192 円（32.1%）、次いで、「子どもの生活費」が8,217 円（23.6%）、「子どもの教育費等」8,156 円（23.4%）という順になっている。

図表Ⅱ-5-20 世帯年収階級別の児童手当等の用途別金額 300 万円未満（平均金額）

世帯年収階級 家庭の世帯全体の年収 (税込) 300万円未満 n=1,295	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの生活費	665	8,217	23.6	0	0.0	8,270	23.7	10,104	23.0	0	0.0	10,104	23.0
子どもに限定しない家庭の日常生活費	626	11,192	32.1	0	0.0	11,171	32.0	14,252	32.4	0	0.0	14,252	32.4
子どもの教育費等	556	8,156	23.4	0	0.0	8,155	23.3	10,078	22.9	0	0.0	10,078	22.9
子どものおこづかいや遊興費	211	1,393	4.0	0	0.0	1,387	4.0	1,752	4.0	0	0.0	1,752	4.0
子どもの将来のための貯蓄・保険料	105	2,942	8.4	0	0.0	2,929	8.4	4,134	9.4	0	0.0	4,134	9.4
大人のおこづかいや遊興費	33	298	0.9	0	0.0	296	0.9	385	0.9	0	0.0	385	0.9
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	15	234	0.7	0	0.0	233	0.7	308	0.7	0	0.0	308	0.7
その他	32	616	1.8	0	0.0	699	2.0	822	1.9	0	0.0	822	1.9
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	78	1,807	5.2	0	0.0	1,799	5.2	2,100	4.8	0	0.0	2,100	4.8
計	-	34,856	100.0	0	0.0	34,938	100.0	43,937	100.0	0	0.0	43,937	100.0

世帯年収階級 300～600 万円未満の使途についてみると、「子どもの教育費等」が 42.0%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(35.8%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(32.0%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(20.8%)、「子どものおこづかいや遊興費」(10.8%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(3.6%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.6%)と続いている。

図表Ⅱ-5-21 世帯年収階級別の児童手当等の使途 300～600 万円未満（複数回答）



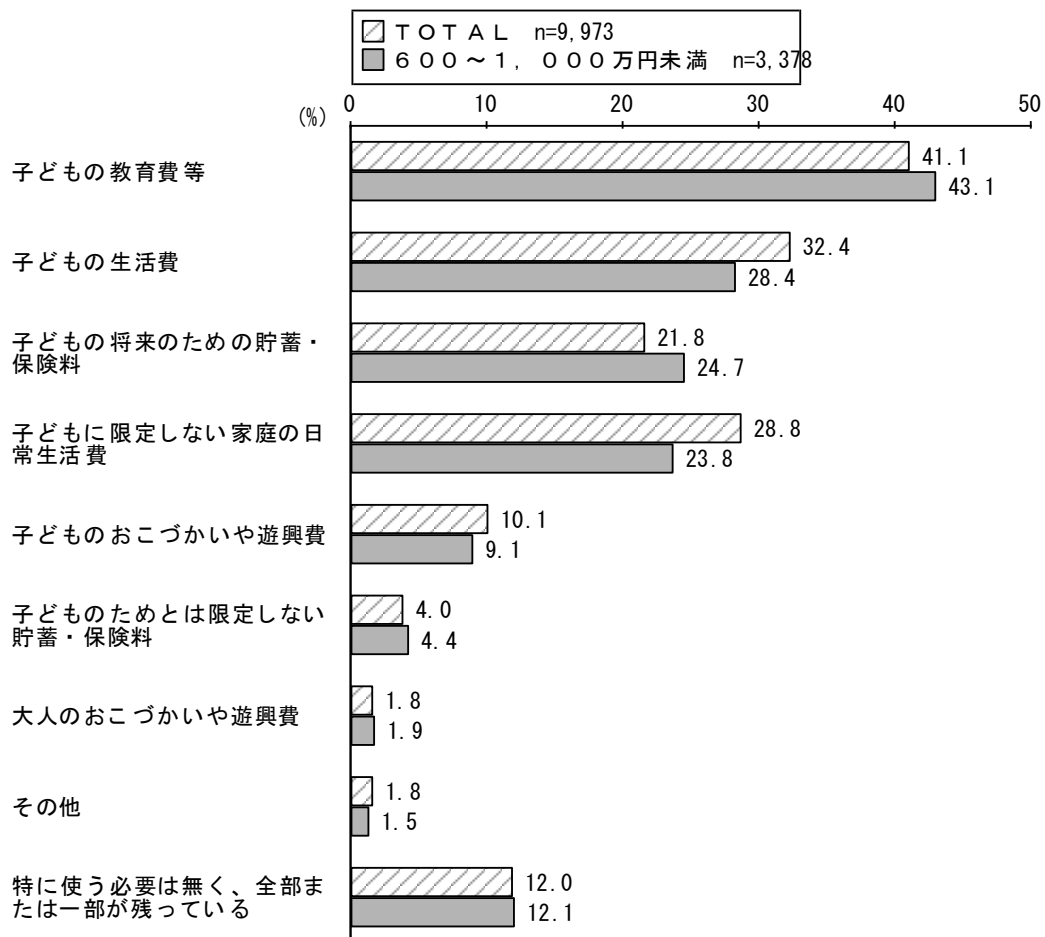
用途別の使用金額（世帯年収階級 300～600 万円未満の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」9,210 円（25.3%）、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」7,853 円（21.6%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」7,602 円（20.9%）、「子どもの生活費」5,542 円（15.2%）、という順になっている。

図表Ⅱ-5-22 世帯年収階級別の児童手当等の用途別金額 300～600 万円未満（平均金額）

世帯年収階級 家庭の世帯全体の年収 (税込) 300～600万円未満 n=3,700	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの教育費等	1554	9,210	25.3	0	0.0	9,211	25.3	10,709	24.1	0	0.0	10,709	24.1
子どもの生活費	1325	5,542	15.2	0	0.0	5,552	15.2	6,340	14.2	0	0.0	6,340	14.2
子どもに限定しない家庭の日常生活費	1183	7,602	20.9	0	0.0	7,600	20.9	9,423	21.2	0	0.0	9,423	21.2
子どもの将来のための貯蓄・保険料	769	7,853	21.6	0	0.0	7,847	21.5	10,455	23.5	0	0.0	10,455	23.5
子どものおこづかいや遊興費	398	1,135	3.1	0	0.0	1,135	3.1	1,377	3.1	0	0.0	1,377	3.1
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	135	955	2.6	0	0.0	954	2.6	1,268	2.9	0	0.0	1,268	2.9
大人のおこづかいや遊興費	61	255	0.7	0	0.0	255	0.7	277	0.6	0	0.0	277	0.6
その他	85	659	1.8	0	0.0	659	1.8	756	1.7	0	0.0	756	1.7
特に使う必要は無く、全部または一部が残っている	397	3,228	8.9	0	0.0	3,225	8.9	3,905	8.8	0	0.0	3,905	8.8
計	-	36,439	100.0	0	0.0	36,438	100.0	44,510	100.0	0	0.0	44,510	100.0

世帯年収階級 600～1,000 万円未満の使途についてみると、「子どもの教育費等」が 43.1%で最も高い。次いで、「子どもの生活費」(28.4%)、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(24.7%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(23.8%)、子どものおこづかいや遊興費」(9.1%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(4.4%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.9%)と続いている。

図表Ⅱ-5-23 世帯年収階級別の児童手当等の使途 600～1,000 万円未満（複数回答）



用途別の使用金額（世帯年収階級 600～1,000 万円未満の①児童手当受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」9,829 円（27.0%）、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」9,726 円（26.7%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」5,660 円（15.6%）、「子どもの生活費」4,363 円（12.0%）、という順になっている。

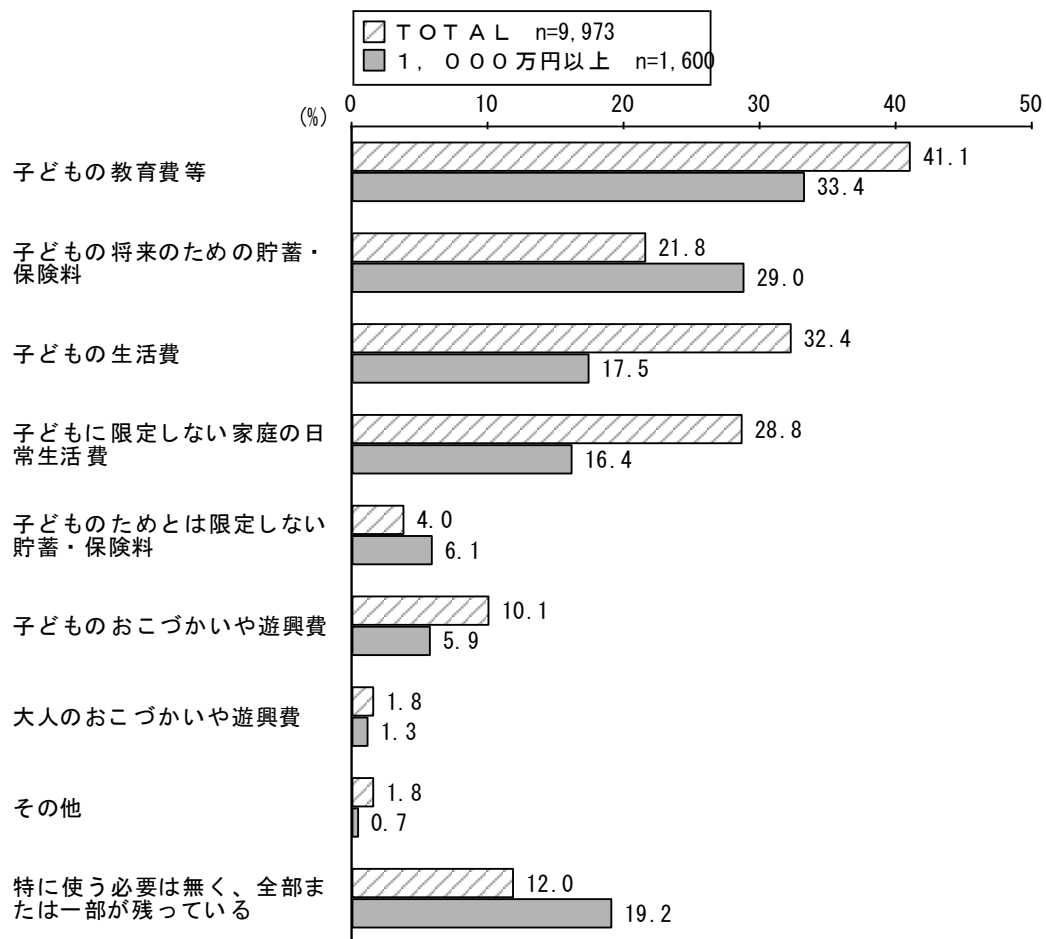
用途別の使用金額（世帯年収階級 600～1,000 万円未満の②特例給付受給者ベースの平均）をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」6,423 円（45.2%）、次いで、「子どもの生活費」が 2,026 円（14.3%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」2,010 円（14.1%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」902 円（6.4%）、という順になっている。

図表Ⅱ-5-24 世帯年収階級別の児童手当等の用途別金額 600～1,000 万円未満（平均金額）

世帯年収階級 家庭の世帯全体の年収 (税込) 600～1,000万円未満 n=3,378	① 児童 手当 受給者 全体			② 特 例 給付 受給者 全体		③ 全 体		④ 児 童手 当満 額受 給者		⑤ 特 例給 付満 額受 給者		⑥ 全 体の 満額 受給者	
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの教育費等	1456	9,829	27.0	6,423	45.2	9,633	27.5	11,509	26.1	9,448	47.2	11,417	26.5
子どもの生活費	958	4,363	12.0	2,026	14.3	4,228	12.1	4,851	11.0	2,838	14.2	4,762	11.1
子どもの将来のための貯蓄・保険料	833	9,726	26.7	902	6.4	9,177	26.2	12,626	28.6	1,286	6.4	12,120	28.2
子どもに限定しない家庭の日常生活費	804	5,660	15.6	2,010	14.1	5,437	15.5	6,863	15.6	2,714	13.6	6,678	15.5
子どものおこづかいや遊興費	308	1,026	2.8	507	3.6	996	2.8	1,231	2.8	867	4.3	1,214	2.8
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	149	1,184	3.3	195	1.4	1,122	3.2	1,573	3.6	190	1.0	1,511	3.5
大人のおこづかいや遊興費	63	219	0.6	20	0.1	207	0.6	274	0.6	38	0.2	264	0.6
その他	51	524	1.4	112	0.8	498	1.4	667	1.5	190	1.0	645	1.5
特に使う必要は無く、全部または一部が 残っている	410	3,864	10.6	2,024	14.2	3,747	10.7	4,505	10.2	2,429	12.1	4,413	10.3
計	-	36,395	100.0	14,220	100.0	35,044	100.0	44,100	100.0	20,000	100.0	43,025	100.0

世帯年収階級 1,000 万円以上の使途についてみると、「子どもの教育費等」が 33.4%で最も高い。次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」(29.0%)、「子どもの生活費」(17.5%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」(16.4%)、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」(6.1%)、「子どものおこづかいや遊興費」(5.9%)、「大人のおこづかいや遊興費」(1.3%)と続いている。

図表Ⅱ-5-25 世帯年収階級別の児童手当等の使途 1,000 万円以上（複数回答）



用途別の使用金額(世帯年収階級1,000万円以上の①児童手当受給者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの将来のための貯蓄・保険料」11,138円(32.0%)、次いで、「子どもの教育費等」7,213円(20.7%)、「子どもの生活費」3,886円(11.2%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」3,817円(11.0%)、という順になっている。

用途別の使用金額(世帯年収階級1,000万円以上の②特例給付受給者ベースの平均)をみると、最も多く使われているのは「子どもの教育費等」4,876円(31.1%)、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」3,805円(24.3%)、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」2,081円(13.3%)、「子どもの生活費」が1,255円(8.0%)、という順になっている。

図表Ⅱ-5-26 世帯年収階級別の児童手当等の用途別金額1,000万円以上(平均金額)

世帯年収階級 家庭の世帯全体の年収 (税込)1,000万円以上 n=1,600	① 児童 手当 受給者 全体		② 特 例 給付 受給者 全体		③ 全 体		④ 児 童 手 当 満 額 受 給 者		⑤ 特 例 給 付 満 額 受 給 者		⑥ 全 体 の 満 額 受 給 者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
子どもの教育費等	535	7,213	20.7	4,876	31.1	6,139	23.8	8,790	19.8	5,957	29.8	7,438	22.7
子どもの将来のための貯蓄・保険料	464	11,138	32.0	3,805	24.3	7,702	29.8	15,499	35.0	5,316	26.6	10,642	32.5
子どもの生活費	280	3,886	11.2	1,255	8.0	2,642	10.2	4,669	10.5	1,456	7.3	3,136	9.6
子どもに限定しない家庭の日常生活費	262	3,817	11.0	2,081	13.3	2,994	11.6	5,263	11.9	2,589	13.0	3,988	12.2
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	97	1,488	4.3	626	4.0	1,080	4.2	2,075	4.7	858	4.3	1,495	4.6
子どものおこづかいや遊興費	95	733	2.1	429	2.7	589	2.3	904	2.0	532	2.7	726	2.2
大人のおこづかいや遊興費	20	322	0.9	59	0.4	198	0.8	468	1.1	45	0.2	266	0.8
その他	11	272	0.8	35	0.2	160	0.6	318	0.7	51	0.3	191	0.6
特に使う必要は無く、全部または一部が 残っている	307	5,971	17.1	2,520	16.1	4,347	16.8	6,321	14.3	3,195	16.0	4,830	14.8
計	-	34,840	100.0	15,685	100.0	25,851	100.0	44,307	100.0	20,000	100.0	32,713	100.0

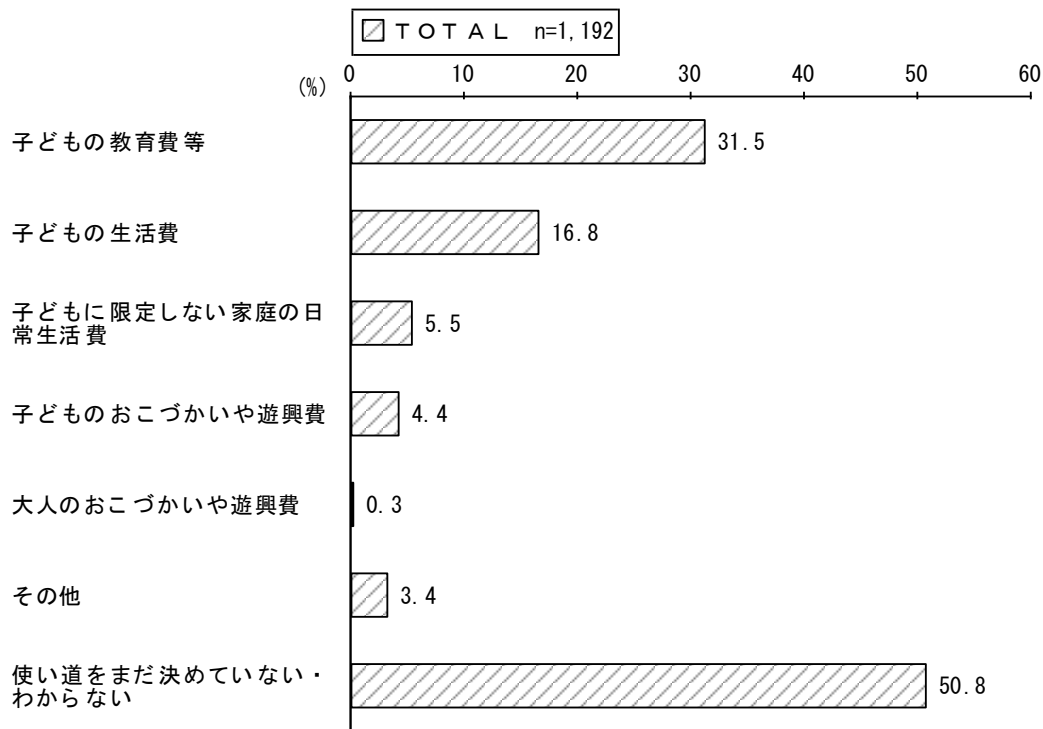
(2) 残った「児童手当等」の使い道（使途予定）

① 全体使途予定

児童手当等の支給後から1月末日の調査期間が終了した時点で1円以上残金がある人（1,192サンプル）を対象に今後の使途予定について複数回答で回答を得た。（貯蓄・保険料を含む何かしらの使途に全額使用した人は対象外となっている。）

残金がある人の今後の使途予定として最も多いのは、「使い道をまだ決めていない・わからない」で50.8%となっている。次いで、「子どもの教育費等として使用予定」（31.5%）、「子どもの生活費として使用予定」（16.8%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定」（5.5%）、「子どものおこづかいや遊興費として使用予定」（4.4%）、「その他の使途として使用予定」（3.4%）、「大人のおこづかいや遊興費として使用予定」（0.3%）と続いている。

図表Ⅱ-5-27 児童手当等の使途予定（複数回答）



使途予定別に使用金額（10月支給期に①児童手当の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、「使い道をまだ決めていない・わからない」が最も高く20,409円（66.7%）となっており、2番目に高いのは「子どもの教育費等として使用予定」で5,532円（18.1%）、3番目に高いのは「子どもの生活費として使用予定」で2,142円（7.0%）と続いている。

使途予定別に使用金額（10月支給期に②特例給付の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、「使い道をまだ決めていない・わからない」が最も高く10,212円（70.7%）となっており、2番目に高いのは「子どもの教育費等として使用予定」で2,794円（19.4%）、3番目に高いのは「子どもの生活費として使用予定」で566円（3.9%）と続いている。

図表Ⅱ-5-28 児童手当等の使途予定別金額

	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
児童手当受給者全体:n=1,031 特例給付受給者全体:n=160 全体:n=1,192 児童手当満額受給者:n=710 特例給付満額受給者:n=96 全体の満額受給者:n=806													
子どもの生活費として使用予定	200	2,142	7.0	566	3.9	1,937	6.8	2,340	6.5	740	3.9	2,149	6.3
子どもの教育費等として使用予定	375	5,532	18.1	2,794	19.4	5,164	18.2	6,451	17.9	3,615	19.2	6,113	18.0
子どものおこづかいや遊興費として使用予定	53	375	1.2	153	1.1	345	1.2	471	1.3	240	1.3	444	1.3
大人のおこづかいや遊興費として使用予定	4	21	0.1	0	0.0	18	0.1	17	0.1	0	0.0	15	0.0
子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定	66	1,033	3.4	288	2.0	932	3.3	1,308	3.6	428	2.3	1,203	3.5
その他として使用予定	41	1,088	3.6	425	2.9	998	3.5	1,403	3.9	438	2.3	1,288	3.8
使い道をまだ決めていない・わからない	606	20,409	66.7	10,212	70.7	19,023	66.9	24,089	66.8	13,405	71.1	22,816	67.1
計	-	30,602	100.0	14,438	100.0	28,419	100.0	36,078	100.0	18,865	100.0	34,028	100.0

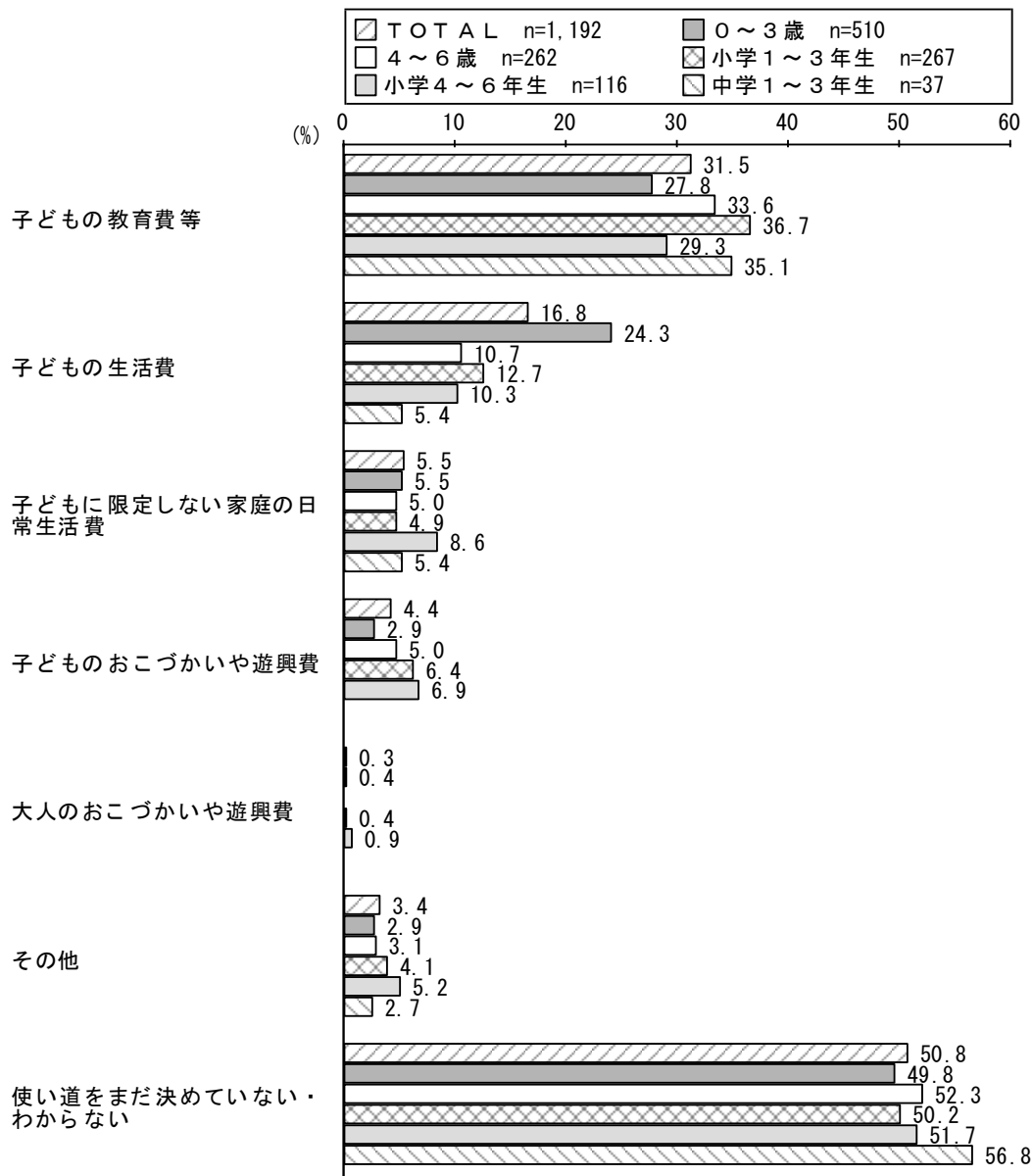
② 長子学齢区分別使途予定

調査終了時点で1円以上残金がある人について、長子学齢区分別に使途予定をみると、いずれの属性でも残金がある人のうち約半数が「わからない・使い道をまだ決めていない」と回答している。

2番目に多いのは「子どもの教育費等として使用予定」で、いずれの属性も3割前後となっている。

「子どもの生活費として使用予定」は、最も高いのは0～3歳の24.3%であり、中学1～3年生の5.4%より18.9ポイント高くなっている。

図表Ⅱ-5-29 長子学齢区分別の児童手当等の使途予定（複数回答）



調査終了時点で1円以上残金がある人について、長子学齢区分別に使途予定金額（10月支給期に①児童手当の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、いずれの属性でも残金がある人のうち6割前後が「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高く、11,461円～24,636円となっている。次いで、「子どもの教育費等として使用予定」が3,807円～6,077円となっている。3番目に使用金額が多いのは、未就学児では「子どもの生活費として使用予定」、小学1～3年生では「その他として使用予定」、小学4～6年生、中学1～3年生では、「子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定」となっている。

調査終了時点で1円以上残金がある人について、長子学齢区分別に使途予定金額（10月支給期に②特例給付の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、いずれの属性でも残金がある人のうち5割以上が「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高く、8,057～14,063円となっている。次いで、「子どもの教育費等として使用予定」が1,406円～4,762円となっている。3番目に使用金額が多いのは、0～3歳では「その他として使用予定」、小学4～6年生では「子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定」、4～6歳、小学1～3年生、中学1～3年生では「子どもの生活費として使用予定」となっている。

図表Ⅱ-5-30 長子学齢区分別の児童手当等の使途予定別金額（平均金額全体）

	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
全体：n=1,192 0～3歳：n=510 4～6歳：n=262 小学1～3年生：n=267 小学4～6年生：n=116 中学1～3年生：n=37													
子どもの生活費として使用予定													
TOTAL	200	2,142	7.0	566	3.9	1,937	6.8	2,340	6.5	740	3.9	2,149	6.3
0～3歳	124	3,388	9.5	326	2.4	3,142	9.3	3,610	8.4	278	1.4	3,429	8.2
4～6歳	28	1,387	5.2	438	2.7	1,271	5.1	1,591	5.2	519	2.9	1,440	5.0
小学1～3年生	34	841	3.1	802	5.9	833	3.4	1,097	3.5	1,156	6.3	1,108	3.8
小学4～6年生	12	1,274	4.8	238	1.6	1,086	4.5	1,338	4.4	0	0.0	1,123	3.9
中学1～3年生	2	385	2.1	1,364	8.6	676	3.8	909	3.7	2,500	12.5	1,471	6.4
子どもの教育費等として使用予定													
TOTAL	375	5,532	18.1	2,794	19.4	5,164	18.2	6,451	17.9	3,615	19.2	6,113	18.0
0～3歳	142	5,557	15.5	2,000	14.7	5,256	15.5	6,573	15.3	3,889	19.4	6,427	15.4
4～6歳	88	6,077	23.0	1,406	8.7	5,507	21.9	7,474	24.3	1,481	8.3	6,627	22.9
小学1～3年生	98	5,857	21.7	3,321	24.3	5,353	22.0	6,755	21.5	4,438	24.0	6,356	21.8
小学4～6年生	34	3,807	14.3	4,762	32.3	3,980	16.3	3,157	10.5	6,923	34.6	3,762	13.2
中学1～3年生	13	3,904	21.2	3,636	22.9	3,824	21.6	3,818	15.7	833	4.2	2,765	12.1
子どものおこづかいや遊興費として使用予定													
TOTAL	53	375	1.2	153	1.1	345	1.2	471	1.3	240	1.3	444	1.3
0～3歳	15	305	0.9	23	0.2	281	0.8	313	0.7	0	0.0	296	0.7
4～6歳	13	570	2.2	0	0.0	500	2.0	780	2.5	0	0.0	670	2.3
小学1～3年生	17	313	1.2	443	3.2	339	1.4	399	1.3	719	3.9	454	1.6
小学4～6年生	8	495	1.9	0	0.0	405	1.7	691	2.3	0	0.0	580	2.0
中学1～3年生	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
大人のおこづかいや遊興費として使用予定													
TOTAL	4	21	0.1	0	0.0	18	0.1	17	0.1	0	0.0	15	0.0
0～3歳	2	26	0.1	0	0.0	24	0.1	6	0.0	0	0.0	6	0.0
4～6歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小学1～3年生	1	23	0.1	0	0.0	19	0.1	32	0.1	0	0.0	27	0.1
小学4～6年生	1	53	0.2	0	0.0	43	0.2	74	0.2	0	0.0	62	0.2
中学1～3年生	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定													
TOTAL	66	1,033	3.4	288	2.0	932	3.3	1,308	3.6	428	2.3	1,203	3.5
0～3歳	28	926	2.6	116	0.9	855	2.5	1,179	2.8	0	0.0	1,115	2.7
4～6歳	13	1,172	4.4	191	1.2	1,052	4.2	1,558	5.1	226	1.3	1,370	4.7
小学1～3年生	13	493	1.8	283	2.1	451	1.9	357	1.1	469	2.5	376	1.3
小学4～6年生	10	2,095	7.9	952	6.5	1,888	7.7	2,779	9.2	1,538	7.7	2,580	9.0
中学1～3年生	2	2,308	12.5	0	0.0	1,622	9.2	5,455	22.4	0	0.0	3,529	15.5
その他として使用予定													
TOTAL	41	1,088	3.6	425	2.9	998	3.5	1,403	3.9	438	2.3	1,288	3.8
0～3歳	15	955	2.7	581	4.3	922	2.7	1,214	2.8	0	0.0	1,148	2.8
4～6歳	8	1,152	4.4	0	0.0	1,011	4.0	1,555	5.1	0	0.0	1,335	4.6
小学1～3年生	11	1,126	4.2	774	5.7	1,056	4.3	1,305	4.2	1,250	6.8	1,296	4.4
小学4～6年生	6	1,695	6.4	95	0.7	1,405	5.8	2,353	7.8	154	0.8	2,000	7.0
中学1～3年生	1	385	2.1	0	0.0	270	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
使い道をまだ決めていない／わからない													
TOTAL	606	20,409	66.7	10,212	70.7	19,023	66.9	24,089	66.8	13,405	71.1	22,816	67.1
0～3歳	254	24,636	68.8	10,558	77.6	23,401	69.1	29,960	69.9	15,833	79.2	29,192	70.2
4～6歳	137	16,096	60.9	14,063	87.4	15,848	62.9	17,757	57.8	15,556	87.5	17,446	60.4
小学1～3年生	134	18,382	68.0	8,057	58.9	16,332	67.0	21,498	68.4	10,438	56.5	19,595	67.1
小学4～6年生	60	17,124	64.5	8,710	59.0	15,601	63.9	19,806	65.6	11,377	56.9	18,453	64.6
中学1～3年生	21	11,461	62.2	10,909	68.6	11,297	63.9	14,180	58.2	16,667	83.3	15,057	66.0
計													
TOTAL		30,602	100.0	14,438	100.0	28,419	100.0	36,078	100.0	18,865	100.0	34,028	100.0
0～3歳		35,793	100.0	13,605	100.0	33,881	100.0	42,856	100.0	20,000	100.0	41,613	100.0
4～6歳		26,454	100.0	16,097	100.0	25,189	100.0	30,715	100.0	17,781	100.0	28,887	100.0
小学1～3年生		27,035	100.0	13,679	100.0	24,384	100.0	31,445	100.0	18,469	100.0	29,212	100.0
小学4～6年生		26,542	100.0	14,757	100.0	24,409	100.0	30,199	100.0	19,992	100.0	28,560	100.0
中学1～3年生		18,441	100.0	15,909	100.0	17,689	100.0	24,362	100.0	20,000	100.0	22,822	100.0

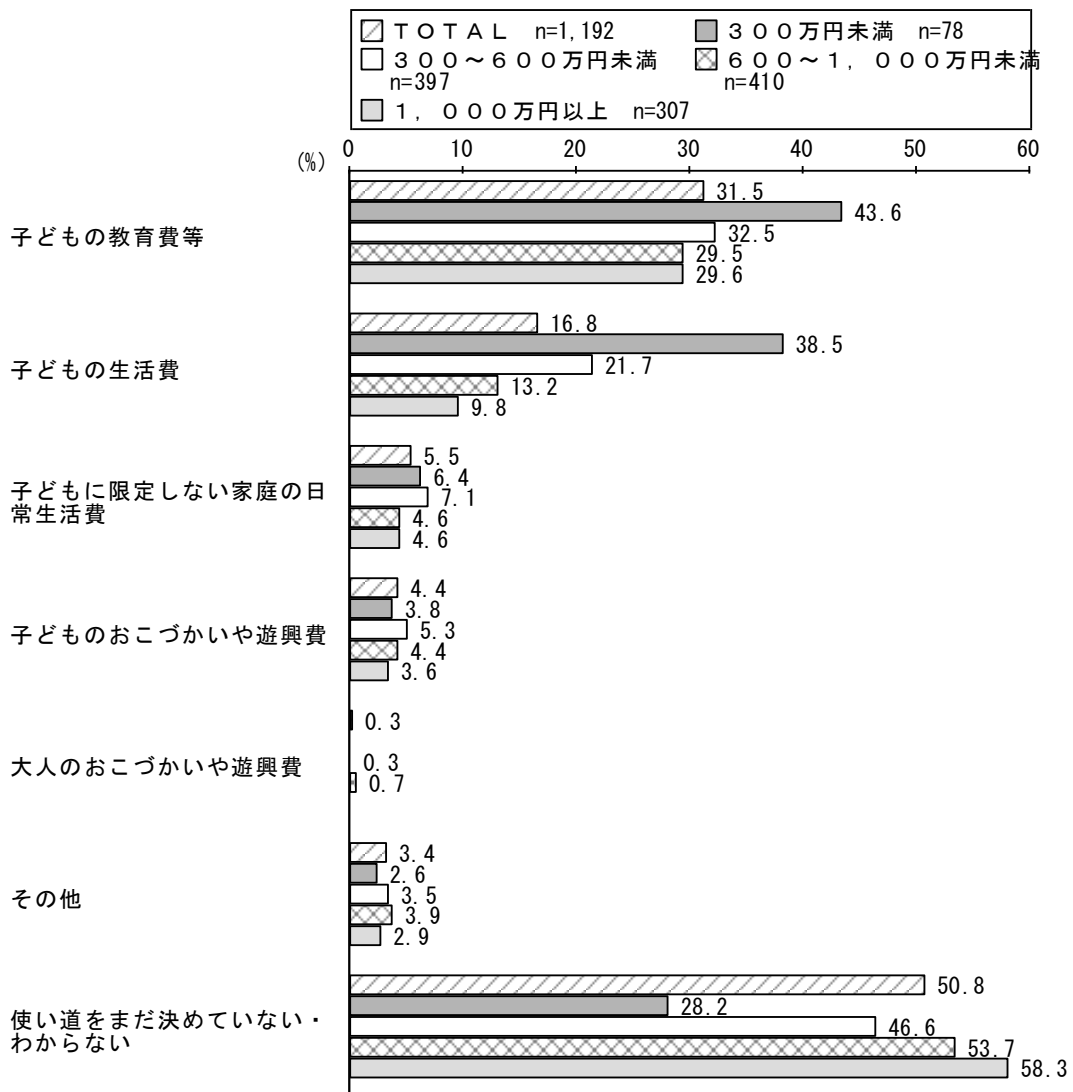
③ 世帯年収階級別用途予定

調査終了時点で1円以上残金がある人について、世帯年収階級別に用途予定をみると、世帯年収300万円未満を除き、残金がある人のうち4割以上が「わからない・使い道をまだ決めていない」と回答している。特に、世帯年収1,000万円以上の世帯では58.3%を占めている。世帯年収300万円未満では、「子どもの教育費等として使用予定」が43.6%と最も高い。

世帯年収300万円未満を除き、2番目に高いのは、「子どもの教育費等として使用予定」となっており、3割前後となっている。世帯年収300万円未満では、2番目に高いのは、「子どもの生活費として使用予定」となっている。

「子どもの生活費として使用予定」では、世帯年収が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。一方、「わからない・使い道をまだ決めていない」では、世帯年収が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

図表Ⅱ-5-31 世帯年収階級別の児童手当等の用途予定（複数回答）



調査終了時点で1円以上残金がある人について、世帯年収階級別に使途予定金額（10月支給期に①児童手当の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、いずれも「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高く、16,455～22,470円となっている。次いで、いずれも「子どもの教育費等として使用予定」となっており、5,350～6,516円となっている。3番目には、いずれも「子どもの生活費として使用予定」となっており、平均金額をみると世帯年収が低いほど金額が高くなる傾向がみられる。（世帯年収1,000万円以上では「子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定」も同位）

調査終了時点で1円以上残金がある人について、世帯年収階級別に使途予定金額（10月支給期に②特例給付の支給を受けた人のうち、調査終了時点で1円以上残金がある人ベースの平均）をみると、「わからない・使い道をまだ決めていない」が最も高く、9,645～10,348円となっている。次いで、「子どもの教育費等として使用予定」となっており、2,129～2,953円となっている。3番目には、世帯年収600～1,000万円未満では「その他として使用予定」、世帯年収1,000万円以上では「子どもの生活費として使用予定」となっている。

図表Ⅱ-5-32 世帯年収階級別の児童手当等の使途予定別金額（平均金額全体）

	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
全体：n=1,192 300万円未満：n=78 300～600万円未満：n=397 600～1,000万円未満：n=410 1,000万円以上：n=307													
子どもの生活費として使用予定													
TOTAL	200	2,142	7.0	566	3.9	1,937	6.8	2,340	6.5	740	3.9	2,149	6.3
300万円未満	30	4,782	16.0	0	0.0	4,782	16.0	5,519	15.5	0	0.0	5,519	15.5
300～600万円未満	86	2,456	8.2	0	0.0	2,456	8.2	2,374	6.9	0	0.0	2,374	6.9
600～1,000万円未満	54	1,711	5.3	290	2.2	1,604	5.2	1,954	5.2	0	0.0	1,864	5.1
1,000万円以上	30	1,199	4.2	632	4.3	990	4.4	1,539	4.1	855	4.6	1,209	4.2
子どもの教育費等として使用予定													
TOTAL	375	5,532	18.1	2,794	19.4	5,164	18.2	6,451	17.9	3,615	19.2	6,113	18.0
300万円未満	34	6,516	21.8	0	0.0	6,516	21.8	7,658	21.5	0	0.0	7,658	21.5
300～600万円未満	129	5,350	17.8	0	0.0	5,350	17.8	6,221	18.1	0	0.0	6,221	18.1
600～1,000万円未満	121	5,517	17.1	2,129	15.9	5,260	17.0	6,108	16.3	4,615	23.5	6,040	16.5
1,000万円以上	91	5,543	19.4	2,953	20.1	4,453	19.7	7,561	19.9	3,458	18.4	5,581	19.5
子どものおこづかいや遊興費として使用予定													
TOTAL	53	375	1.2	153	1.1	345	1.2	471	1.3	240	1.3	444	1.3
300万円未満	3	90	0.3	0	0.0	90	0.3	38	0.1	0	0.0	38	0.1
300～600万円未満	21	368	1.2	0	0.0	368	1.2	425	1.2	0	0.0	425	1.2
600～1,000万円未満	18	296	0.9	32	0.2	276	0.9	410	1.1	0	0.0	391	1.1
1,000万円以上	11	689	2.4	182	1.2	474	2.1	1,067	2.8	277	1.5	686	2.4
大人のおこづかいや遊興費として使用予定													
TOTAL	4	21	0.1	0	0.0	18	0.1	17	0.1	0	0.0	15	0.0
300万円未満	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
300～600万円未満	1	5	0.0	0	0.0	5	0.0	7	0.0	0	0.0	7	0.0
600～1,000万円未満	3	53	0.2	0	0.0	49	0.2	37	0.1	0	0.0	35	0.1
1,000万円以上	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
子どもに限定しない家庭の日常生活費として使用予定													
TOTAL	66	1,033	3.4	288	2.0	932	3.3	1,308	3.6	428	2.3	1,203	3.5
300万円未満	5	1,321	4.4	0	0.0	1,321	4.4	1,788	5.0	0	0.0	1,788	5.0
300～600万円未満	28	851	2.8	0	0.0	851	2.8	891	2.6	0	0.0	891	2.6
600～1,000万円未満	19	1,087	3.4	0	0.0	1,005	3.3	1,328	3.6	0	0.0	1,268	3.5
1,000万円以上	14	1,199	4.2	357	2.4	842	3.7	2,360	6.2	495	2.6	1,460	5.1
その他として使用予定													
TOTAL	41	1,088	3.6	425	2.9	998	3.5	1,403	3.9	438	2.3	1,288	3.8
300万円未満	2	705	2.4	0	0.0	705	2.4	769	2.2	0	0.0	769	2.2
300～600万円未満	14	1,285	4.3	0	0.0	1,285	4.3	1,611	4.7	0	0.0	1,611	4.7
600～1,000万円未満	16	1,166	3.6	1,290	9.6	1,176	3.8	1,554	4.2	1,538	7.8	1,553	4.3
1,000万円以上	9	650	2.3	217	1.5	466	2.1	618	1.6	265	1.4	448	1.6
使い道をまだ決めていない／わからない													
TOTAL	606	20,409	66.7	10,212	70.7	19,023	66.9	24,089	66.8	13,405	71.1	22,816	67.1
300万円未満	22	16,455	55.1	0	0.0	16,455	55.1	19,934	55.8	0	0.0	19,934	55.8
300～600万円未満	185	19,744	65.7	0	0.0	19,744	65.7	22,870	66.5	0	0.0	22,870	66.5
600～1,000万円未満	220	22,470	69.6	9,645	72.1	21,501	69.7	25,999	69.5	13,462	68.6	25,425	69.5
1,000万円以上	179	19,227	67.4	10,348	70.4	15,433	68.1	24,782	65.3	13,396	71.5	19,288	67.3
計													
TOTAL		30,602	100.0	14,438	100.0	28,419	100.0	36,078	100.0	18,865	100.0	34,028	100.0
300万円未満		29,868	100.0	0	0.0	29,868	100.0	35,707	100.0	0	0.0	35,707	100.0
300～600万円未満		30,058	100.0	0	0.0	30,058	100.0	34,398	100.0	0	0.0	34,398	100.0
600～1,000万円未満		32,300	100.0	13,387	100.0	30,870	100.0	37,389	100.0	19,615	100.0	36,576	100.0
1,000万円以上		28,508	100.0	14,690	100.0	22,657	100.0	37,927	100.0	18,747	100.0	28,672	100.0

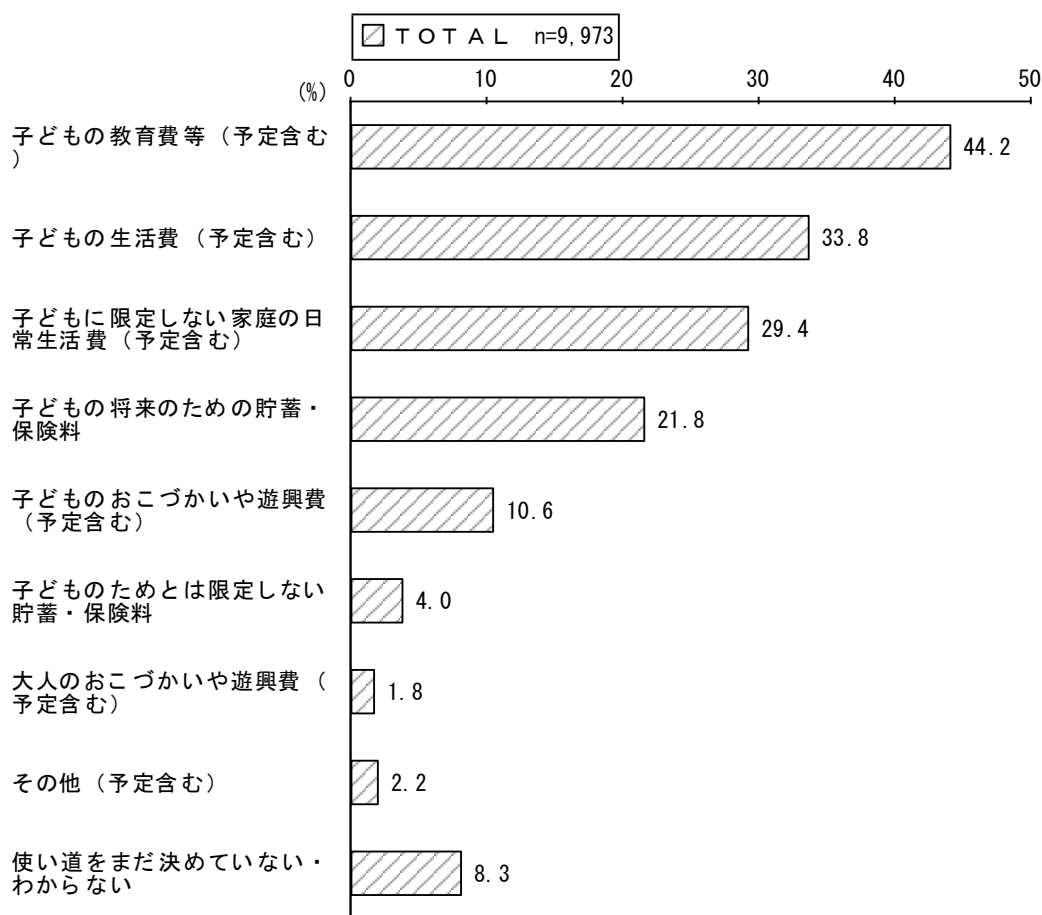
(3) 児童手当等の使途（使用実績に使用予定を踏まえた状況）

(1)の調査期間中の使用実績の回答状況に、(2)の残額が1円以上ある者に聞いた使用予定の状況を踏まえた児童手当等の使途（予定含む）については、以下のとおりとなっている。

① 全体使途（予定含む）

児童手当等の使途（予定含む）状況を見ると、最も多いのは、「子どもの教育費等（予定含む）」で44.2%となっている。次いで、「子どもの生活費（予定含む）」（33.8%）、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」（29.4%）、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（21.8%）、「子どものおこづかいや遊興費（予定含む）」（10.6%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」（4.0%）、「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」（1.8%）と続いている。一方、「わからない・使い道をまだ決めていない」（8.3%）となっている。

図表Ⅱ-5-33 児童手当等の使途（予定含む）（複数回答）



10月の支給期に①児童手当の支給を受けた人（8,999サンプル）の中で平均金額をみると、「子どもの教育費等（予定含む）」が9,724円（27.0%）で最も高い。2番目に高いのは、「子どもの将来のための貯蓄・保険料（予定含む）」で8,118円（22.5%）。次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費」で7,196円（20.0%）となっている。また、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」と「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は他の用途よりも低い金額となっており、「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は257円（0.7%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」は982円（2.7%）と、いずれも1,000円未満にとどまっている。

10月の支給期に②特例給付の支給を受けた人（957サンプル）の中で平均金額をみると、「子どもの教育費等（予定含む）」が5,675円（36.9%）で最も高い。2番目に高いのは、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」で3,183円（20.7%）。次いで「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」で2,114円（13.8%）となっている。また、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」と「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は他の用途よりも低い金額となっており、「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は50円（0.3%）、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」は534円（3.5%）と、いずれも600円未満にとどまっている。

図表Ⅱ-5-34 児童手当等の用途別金額（予定含む）

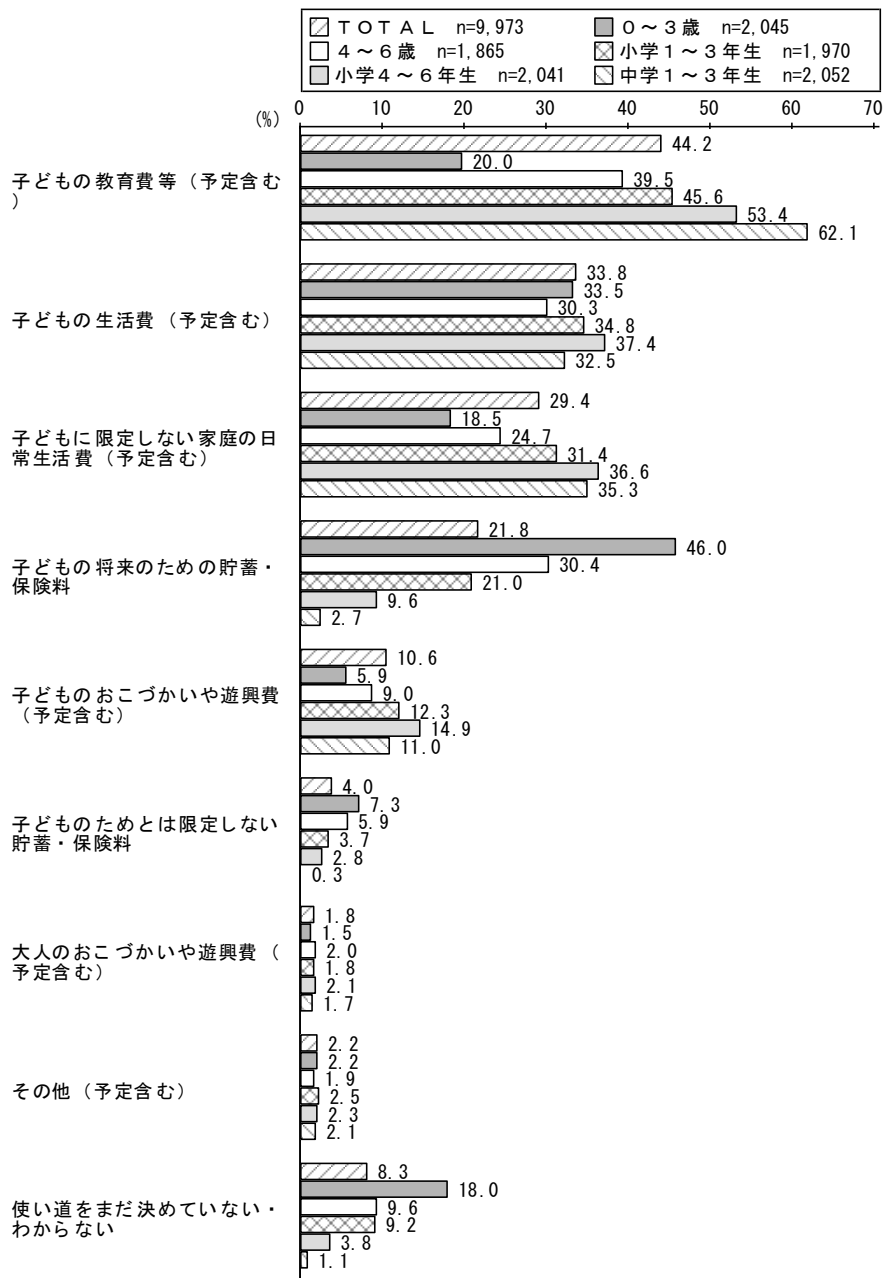
	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
児童手当受給者全体:n=8,999 特例給付受給者全体:n=957 全体:n=9,973 児童手当満額受給者:n=6,292 特例給付満額受給者:n=592 全体の満額受給者:n=6,884													
子どもの生活費(予定含む)	3,366	5,600	15.5	1,514	9.9	5,221	15.3	6,459	14.6	1,821	9.1	6,060	14.4
子どもの教育費等(予定含む)	4,408	9,724	27.0	5,675	36.9	9,341	27.4	11,471	25.9	7,162	35.8	11,101	26.3
子どものおこづかいや遊興費(予定含む)	1,060	1,139	3.2	471	3.1	1,074	3.2	1,391	3.1	630	3.2	1,325	3.1
大人のおこづかいや遊興費(予定含む)	181	257	0.7	50	0.3	237	0.7	309	0.7	44	0.2	286	0.7
子どもに限定しない家庭の日常生活費 (予定含む)	2,929	7,196	20.0	2,114	13.8	6,703	19.7	8,981	20.3	2,681	13.4	8,439	20.0
子どもの将来のための貯蓄・保険料	2,171	8,118	22.5	3,183	20.7	7,635	22.4	10,771	24.3	4,602	23.0	10,241	24.3
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	396	982	2.7	534	3.5	938	2.8	1,310	3.0	740	3.7	1,261	3.0
その他(予定含む)	220	694	1.9	122	0.8	649	1.9	855	1.9	147	0.7	794	1.9
使い道をまだ決めていない・わからない	830	2,338	6.5	1,707	11.1	2,274	6.7	2,718	6.1	2,174	10.9	2,671	6.3
計	-	36,047	100.0	15,371	100.0	34,072	100.0	44,266	100.0	20,000	100.0	42,179	100.0

② 長子学齢区分別使途（予定含む）

長子学齢区分別に、児童手当等の使途（予定含む）の状況をみると、長子の学齢が高くなるほど「子どもの教育費等（予定含む）」の割合が高くなる傾向がみられる。一方、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」に関しては、長子の学齢が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は、いずれの学齢においても3%未満と低い割合となっている。

「わからない・使い道をまだ決めていない」の割合は、長子の学齢が低くなるほど高くなっている。

図表Ⅱ-5-35 長子学齢区分別の児童手当等の使途（予定含む）（複数回答）



長子学齢区分別に、児童手当等の使途（予定含む）別の使用金額（10月の支給期に①児童手当の支給を受けた者ベースの平均）をみると、小学生以上では「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い金額となっている。長子学齢が高くなるほど金額が高くなる傾向がみられ、平均金額は5,015円～15,042円となっている。未就学児では「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が最も高い金額となっている。長子学齢が低くなるほど金額が高くなる傾向がみられ、平均金額が527円～20,945円となっている。2番目に高いのは、小学生以上では「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」で、長子学齢が高くなるほど金額が高くなる傾向がみられ、平均金額は5,657円～8,606円となっている。0～3歳では「子どもの生活費（予定含む）」（8,042円）、4～6歳では、「子どもの教育費等（予定含む）」（8,684円）が高くなっている。

長子学齢区分別に、児童手当等の使途（予定含む）別の使用金額（10月の支給期に②特例給付の支給を受けた者ベースの平均）をみると、小学生以上では「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い金額となっており、長子学齢が高くなるほど金額が高くなる傾向がみられ、平均金額が1,742円～8,154円となっている。未就学児では「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が最も高く、長子学齢が低くなるほど金額が高くなる傾向がみられ、平均金額が955円～5,127円となっている。2番目に高いのは、0～3歳では「使い道をまだ決めていない・わからない」（3,492円）、4～6歳では、「子どもの教育費等（予定含む）」（3,937円）。小学生では、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（4,277円、2,591円）で、中学1～3年生では「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」（3,345円）となっている。「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」は、長子の学齢が高くなるほど金額が高くなる傾向がみられる。

一方、「わからない・使い道をまだ決めていない」では、長子の学齢が低くなるほど金額が高くなる傾向がみられる。

図表Ⅱ-5-36 長子学齢区分別の児童手当等の使途別金額（予定含む）（平均金額全体）

	① 児童 手当 受給者 全体		② 特 例 給 付 受 給 者 全 体		③ 全 体		④ 児 童 手 当 満 額 受 給 者		⑤ 特 例 給 付 満 額 受 給 者		⑥ 全 体 の 満 額 受 給 者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
全体：n=9,973 0～3歳：n=2,045 4～6歳：n=1,865 小学1～3年生：n=1,970 小学4～6年生：n=2,041 中学1～3年生：n=2,052													
子どもの生活費(予定含む)													
TOTAL	3,366	5,600	15.5	1,514	9.9	5,221	15.3	6,459	14.6	1,821	9.1	6,060	14.4
0～3歳	685	8,042	16.0	3,177	21.2	7,753	16.2	8,742	14.8	4,400	22.0	8,551	14.9
4～6歳	566	4,450	13.3	1,424	8.9	4,251	13.2	4,885	12.2	1,816	9.1	4,664	12.1
小学1～3年生	685	4,951	15.3	1,045	6.7	4,579	14.9	5,854	14.6	1,276	6.4	5,440	14.2
小学4～6年生	763	5,492	17.3	1,509	9.7	5,030	16.9	6,508	16.3	1,795	9.0	5,994	15.9
中学1～3年生	667	4,860	15.5	1,088	7.3	4,387	15.0	5,997	15.0	1,219	6.1	5,428	14.4
子どもの教育費等(予定含む)													
TOTAL	4,408	9,724	27.0	5,675	36.9	9,341	27.4	11,471	25.9	7,162	35.8	11,101	26.3
0～3歳	408	5,015	10.0	1,742	11.7	4,864	10.1	5,469	9.3	2,008	10.0	5,317	9.3
4～6歳	737	8,684	26.0	3,937	24.6	8,321	25.9	10,202	25.5	4,346	21.7	9,780	25.4
小学1～3年生	899	8,771	27.0	5,197	33.5	8,426	27.3	10,203	25.5	6,529	32.6	9,871	25.9
小学4～6年生	1,090	11,368	35.9	6,472	41.6	10,807	36.2	13,997	35.0	8,230	41.2	13,368	35.4
中学1～3年生	1,274	15,042	47.9	8,154	54.4	14,153	48.3	18,768	46.9	10,494	52.5	17,784	47.3
子どものおこづかいや遊興費(予定含む)													
TOTAL	1,060	1,139	3.2	471	3.1	1,074	3.2	1,391	3.1	630	3.2	1,325	3.1
0～3歳	120	775	1.5	177	1.2	736	1.5	909	1.5	339	1.7	884	1.5
4～6歳	167	907	2.7	106	0.7	846	2.6	1,112	2.8	41	0.2	1,034	2.7
小学1～3年生	243	1,310	4.0	213	1.4	1,206	3.9	1,601	4.0	317	1.6	1,485	3.9
小学4～6年生	304	1,493	4.7	740	4.8	1,405	4.7	1,881	4.7	877	4.4	1,772	4.7
中学1～3年生	226	1,221	3.9	757	5.1	1,165	4.0	1,549	3.9	1,125	5.6	1,499	4.0
大人のおこづかいや遊興費(予定含む)													
TOTAL	181	257	0.7	50	0.3	237	0.7	309	0.7	44	0.2	286	0.7
0～3歳	31	324	0.6	0	0.0	302	0.6	371	0.6	0	0.0	355	0.6
4～6歳	38	283	0.9	64	0.4	266	0.8	317	0.8	41	0.2	297	0.8
小学1～3年生	35	165	0.5	37	0.2	153	0.5	186	0.5	0	0.0	170	0.4
小学4～6年生	43	259	0.8	0	0.0	229	0.8	305	0.8	0	0.0	272	0.7
中学1～3年生	34	251	0.8	121	0.8	234	0.8	360	0.9	138	0.7	333	0.9
子どもに限定しない家庭の日常生活費(予定含む)													
TOTAL	2,929	7,196	20.0	2,114	13.8	6,703	19.7	8,981	20.3	2,681	13.4	8,439	20.0
0～3歳	379	6,042	12.0	746	5.0	5,704	11.9	7,304	12.4	615	3.1	7,010	12.2
4～6歳	460	5,657	16.9	1,150	7.2	5,313	16.6	6,621	16.6	1,450	7.3	6,248	16.2
小学1～3年生	619	7,134	22.0	1,662	10.7	6,613	21.5	8,777	21.9	1,886	9.4	8,154	21.4
小学4～6年生	747	8,548	27.0	2,416	15.5	7,843	26.3	11,127	27.8	2,801	14.0	10,220	27.0
中学1～3年生	724	8,606	27.4	3,345	22.3	7,917	27.0	11,551	28.9	4,775	23.9	10,745	28.6
子どもの将来のための貯蓄・保険料													
TOTAL	2,171	8,118	22.5	3,183	20.7	7,635	22.4	10,771	24.3	4,602	23.0	10,241	24.3
0～3歳	940	20,945	41.7	5,127	34.3	19,862	41.4	25,722	43.6	7,992	40.0	24,943	43.6
4～6歳	567	9,453	28.3	5,121	32.0	9,121	28.4	12,334	30.8	6,735	33.7	11,931	30.9
小学1～3年生	414	6,391	19.7	4,277	27.6	6,186	20.1	8,740	21.9	6,146	30.7	8,505	22.3
小学4～6年生	195	2,513	7.9	2,591	16.7	2,517	8.4	3,557	8.9	3,826	19.1	3,587	9.5
中学1～3年生	55	527	1.7	955	6.4	583	2.0	649	1.6	1,438	7.2	743	2.0
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料													
TOTAL	396	982	2.7	534	3.5	938	2.8	1,310	3.0	740	3.7	1,261	3.0
0～3歳	150	2,249	4.5	308	2.1	2,115	4.4	2,857	4.8	262	1.3	2,743	4.8
4～6歳	110	1,250	3.7	894	5.6	1,222	3.8	1,552	3.9	1,082	5.4	1,518	3.9
小学1～3年生	72	833	2.6	553	3.6	806	2.6	1,115	2.8	764	3.8	1,083	2.8
小学4～6年生	57	473	1.5	913	5.9	522	1.8	680	1.7	1,308	6.5	749	2.0
中学1～3年生	7	36	0.1	112	0.8	46	0.2	46	0.1	188	0.9	63	0.2
その他(予定含む)													
TOTAL	220	694	1.9	122	0.8	649	1.9	855	1.9	147	0.7	794	1.9
0～3歳	45	852	1.7	192	1.3	830	1.7	977	1.7	0	0.0	934	1.6
4～6歳	35	580	1.7	142	0.9	547	1.7	673	1.7	204	1.0	639	1.7
小学1～3年生	50	689	2.1	250	1.6	646	2.1	847	2.1	366	1.8	804	2.1
小学4～6年生	47	631	2.0	108	0.7	600	2.0	816	2.0	151	0.8	744	2.0
中学1～3年生	43	703	2.2	0	0.0	611	2.1	949	2.4	0	0.0	836	2.2
使い道をまだ決めていない・わからない													
TOTAL	830	2,338	6.5	1,707	11.1	2,274	6.7	2,718	6.1	2,174	10.9	2,671	6.3
0～3歳	369	6,027	12.0	3,492	23.3	5,836	12.2	6,632	11.2	4,385	21.9	6,533	11.4
4～6歳	179	2,149	6.4	3,192	19.9	2,226	6.9	2,306	5.8	4,286	21.4	2,448	6.4
小学1～3年生	182	2,209	6.8	2,271	14.7	2,214	7.2	2,676	6.7	2,715	13.6	2,680	7.0
小学4～6年生	77	901	2.8	792	5.1	887	3.0	1,129	2.8	1,013	5.1	1,116	3.0
中学1～3年生	23	167	0.5	449	3.0	204	0.7	132	0.3	625	3.1	190	0.5
計													
TOTAL		36,047	100.0	15,371	100.0	34,072	100.0	44,266	100.0	20,000	100.0	42,179	100.0
0～3歳		50,270	100.0	14,962	100.0	48,000	100.0	58,982	100.0	20,000	100.0	57,268	100.0
4～6歳		33,413	100.0	16,028	100.0	32,113	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	38,560	100.0
小学1～3年生		32,454	100.0	15,505	100.0	30,827	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	38,191	100.0
小学4～6年生		31,678	100.0	15,541	100.0	29,840	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	37,819	100.0
中学1～3年生		31,413	100.0	14,981	100.0	29,298	100.0	40,000	100.0	20,000	100.0	37,621	100.0

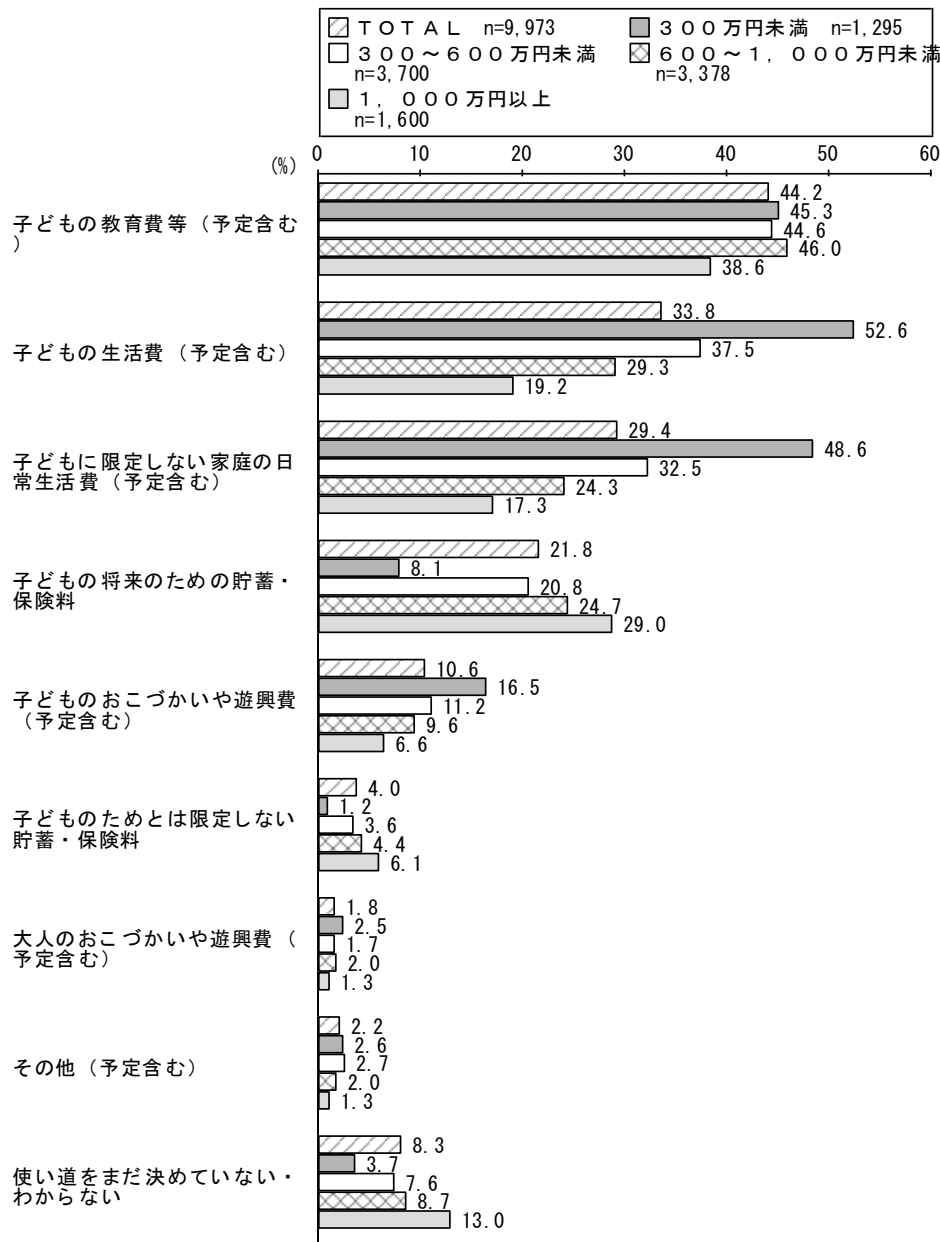
③ 世帯年収階級別使途（予定含む）

世帯年収階級別に、児童手当等の使途（予定含む）の状況を見ると、「子どもの教育費等」はいずれも4割前後となっている。「子どもの生活費（予定含む）」、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」、「子どものおこづかいや遊興費（予定含む）」では、世帯年収が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。一方、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」は世帯年収が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

また、「大人のおこづかいや遊興費（予定含む）」は、いずれの属性においても3%未満と低い割合となっている。

「わからない・使い道をまだ決めていない」の割合は、世帯年収が高くなるほど割合が高くなっている。

図表Ⅱ-5-37 世帯年収階級別の児童手当等の使途（予定含む）（複数回答）



世帯年収階級別に、児童手当等の使途（予定含む）別の使用金額（10月の支給期に①児童手当の支給を受けた者ベースの平均）をみると、世帯年収300万円未満と世帯年収1,000万円以上を除き、「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い金額となっている。平均金額は8,374円～10,487円である。世帯年収300万円未満では、「子どもに限定しない家庭の日常生活費（予定含む）」が最も高く、世帯年収が低くなるほど金額が高くなる傾向がみられ、平均金額は4,068円～11,271円である。世帯年収1,000万円以上では、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が最も高く、世帯年収が高くなるほど金額が高くなる傾向がみられ、平均金額は2,942円～11,138円である。

「子どもの生活費（予定含む）」は、世帯年収が低くなるほど金額が高くなる傾向がみられる。一方、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」、「わからない・使い道をまだ決めていない」については、世帯年収が高くなるほど金額が高くなる傾向がみられる。

世帯年収階級別に、児童手当等の使途（予定含む）別の使用金額（10月の支給期に②特例給付の支給を受けた者ベースの平均）をみると、「子どもの教育費等（予定含む）」が最も高い金額となっており、平均金額は5,383円～6,745円である。次いで、世帯年収600～1,000万円未満では「子どもの生活費（予定含む）」（2,070円）が高く、世帯年収1,000万円以上では、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」（3,805円）となっている。3番目に高いのは、「子どもに限定しない家庭の日常生活費」で、平均金額は2,010円～2,142円である。

図表Ⅱ-5-38 世帯年収階級別の児童手当等の使途別金額（予定含む）（平均金額全体）

	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数(人)	金額(円)	構成比(縦%)	金額(円)	構成比(縦%)	金額(円)	構成比(縦%)	金額(円)	構成比(縦%)	金額(円)	構成比(縦%)	金額(円)	構成比(縦%)
全体：n=9,973 300万円未満：n=1,295 300～600万円未満：n=3,700 600～1,000万円未満：n=3,378 1,000万円以上：n=1,600													
子どもの生活費(予定含む)													
TOTAL	3,366	5,600	15.5	1,514	9.9	5,221	15.3	6,459	14.6	1,821	9.1	6,060	14.4
300万円未満	681	8,507	24.4	0	0.0	8,558	24.5	10,429	23.7	0	0.0	10,429	23.7
300～600万円未満	1,388	5,805	15.9	0	0.0	5,815	16.0	6,610	14.9	0	0.0	6,610	14.9
600～1,000万円未満	990	4,567	12.6	2,070	14.6	4,422	12.6	5,087	11.5	2,838	14.2	4,987	11.6
1,000万円以上	307	4,137	11.9	1,363	8.7	2,832	11.0	4,926	11.1	1,602	8.0	3,340	10.2
子どもの教育費等(予定含む)													
TOTAL	4,408	9,724	27.0	5,675	36.9	9,341	27.4	11,471	25.9	7,162	35.8	11,101	26.3
300万円未満	586	8,550	24.5	0	0.0	8,547	24.5	10,529	24.0	0	0.0	10,529	24.0
300～600万円未満	1,649	9,785	26.9	0	0.0	9,785	26.9	11,415	25.7	0	0.0	11,415	25.7
600～1,000万円未満	1,555	10,489	28.8	6,745	47.4	10,272	29.3	12,245	27.8	10,019	50.1	12,146	28.2
1,000万円以上	618	8,374	24.0	5,383	34.3	6,994	27.1	10,050	22.7	6,546	32.7	8,378	25.6
子どものおこづかいや遊興費(予定含む)													
TOTAL	1,060	1,139	3.2	471	3.1	1,074	3.2	1,391	3.1	630	3.2	1,325	3.1
300万円未満	214	1,399	4.0	0	0.0	1,392	4.0	1,755	4.0	0	0.0	1,755	4.0
300～600万円未満	415	1,174	3.2	0	0.0	1,175	3.2	1,425	3.2	0	0.0	1,425	3.2
600～1,000万円未満	325	1,061	2.9	512	3.6	1,029	2.9	1,280	2.9	867	4.3	1,262	2.9
1,000万円以上	106	878	2.5	460	2.9	680	2.6	1,082	2.4	579	2.9	842	2.6
大人のおこづかいや遊興費(予定含む)													
TOTAL	181	257	0.7	50	0.3	237	0.7	309	0.7	44	0.2	286	0.7
300万円未満	33	298	0.9	0	0.0	296	0.9	385	0.9	0	0.0	385	0.9
300～600万円未満	62	255	0.7	0	0.0	255	0.7	277	0.6	0	0.0	277	0.6
600～1,000万円未満	66	225	0.6	20	0.1	213	0.6	279	0.6	38	0.2	268	0.6
1,000万円以上	20	322	0.9	59	0.4	198	0.8	468	1.1	45	0.2	266	0.8
子どもに限定しない家庭の日常生活費(予定含む)													
TOTAL	2,929	7,196	20.0	2,114	13.8	6,703	19.7	8,981	20.3	2,681	13.4	8,439	20.0
300万円未満	630	11,271	32.3	0	0.0	11,251	32.2	14,357	32.7	0	0.0	14,357	32.7
300～600万円未満	1,202	7,694	21.1	0	0.0	7,691	21.1	9,525	21.4	0	0.0	9,525	21.4
600～1,000万円未満	821	5,790	15.9	2,010	14.1	5,558	15.9	7,023	15.9	2,714	13.6	6,831	15.9
1,000万円以上	276	4,068	11.7	2,142	13.7	3,155	12.2	5,656	12.8	2,674	13.4	4,234	12.9
子どもの将来のための貯蓄・保険料													
TOTAL	2,171	8,118	22.5	3,183	20.7	7,835	22.4	10,771	24.3	4,602	23.0	10,241	24.3
300万円未満	105	2,942	8.4	0	0.0	2,929	8.4	4,134	9.4	0	0.0	4,134	9.4
300～600万円未満	769	7,853	21.6	0	0.0	7,847	21.5	10,455	23.5	0	0.0	10,455	23.5
600～1,000万円未満	833	9,726	26.7	902	6.4	9,177	26.2	12,626	28.6	1,286	6.4	12,120	28.2
1,000万円以上	464	11,138	32.0	3,805	24.3	7,702	29.8	15,499	35.0	5,316	26.6	10,642	32.5
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料													
TOTAL	396	982	2.7	534	3.5	938	2.8	1,310	3.0	740	3.7	1,261	3.0
300万円未満	15	234	0.7	0	0.0	233	0.7	308	0.7	0	0.0	308	0.7
300～600万円未満	135	955	2.6	0	0.0	954	2.6	1,268	2.9	0	0.0	1,268	2.9
600～1,000万円未満	149	1,184	3.3	195	1.4	1,122	3.2	1,573	3.6	190	1.0	1,511	3.5
1,000万円以上	97	1,488	4.3	626	4.0	1,080	4.2	2,075	4.7	858	4.3	1,495	4.6
その他(予定含む)													
TOTAL	220	694	1.9	122	0.8	649	1.9	855	1.9	147	0.7	794	1.9
300万円未満	34	659	1.9	0	0.0	741	2.1	868	2.0	0	0.0	868	2.0
300～600万円未満	99	797	2.2	0	0.0	797	2.2	939	2.1	0	0.0	939	2.1
600～1,000万円未満	67	663	1.8	307	2.2	641	1.8	854	1.9	381	1.9	833	1.9
1,000万円以上	20	408	1.2	72	0.5	249	1.0	421	1.0	97	0.5	266	0.8
使い道をまだ決めていない・わからない													
TOTAL	830	2,338	6.5	1,707	11.1	2,274	6.7	2,718	6.1	2,174	10.9	2,671	6.3
300万円未満	48	996	2.9	0	0.0	991	2.8	1,173	2.7	0	0.0	1,173	2.7
300～600万円未満	281	2,120	5.8	0	0.0	2,118	5.8	2,596	5.8	0	0.0	2,596	5.8
600～1,000万円未満	293	2,688	7.4	1,459	10.3	2,610	7.5	3,133	7.1	1,667	8.3	3,067	7.1
1,000万円以上	208	4,027	11.6	1,775	11.3	2,961	11.5	4,130	9.3	2,283	11.4	3,249	9.9
計													
TOTAL		36,047	100.0	15,371	100.0	34,072	100.0	44,266	100.0	20,000	100.0	42,179	100.0
300万円未満		34,856	100.0	0	0.0	34,938	100.0	43,937	100.0	0	0.0	43,937	100.0
300～600万円未満		36,439	100.0	0	0.0	36,438	100.0	44,510	100.0	0	0.0	44,510	100.0
600～1,000万円未満		36,395	100.0	14,220	100.0	35,044	100.0	44,100	100.0	20,000	100.0	43,025	100.0
1,000万円以上		34,840	100.0	15,685	100.0	25,851	100.0	44,307	100.0	20,000	100.0	32,713	100.0